



TCVB

公益財団法人 東京観光財団

令和6年度事業報告



令和6年度 事業報告

I 公益目的事業

1 海外からの旅行者誘致に関する事業…………… 4

- (1) 市場動向調査
- (2) アイコン等を活用したプロモーション
- (3) 海外市場向け東京の魅力発信プロモーション
- (4) 高付加価値旅行者向けプロモーション
- (5) 東京観光レップの運営
- (6) 多様なチャネルを活用した BtoB プロモーション
- (7) 東京シティプロモーション
- (8) 東京から日本の魅力新発見
- (9) 地方連携参画型広域プロモーション
- (10) 渡航ルート多様化等を見据えた日本各地との新たな連携
- (11) 世界自然遺産を活用した観光振興
- (12) 国際スポーツ大会を契機とした観光振興
- (13) 青少年の教育旅行受入促進事業
- (14) 多様なツーリズムの推進
- (15) 成長見込市場等における PR の推進
- (16) メタバースを活用した観光 PR
- (17) 国際的なイベントを活用した観光 PR
- (18) 近隣県と連携した海外向けレガシーPR
- (19) 山形県との連携による女性の視点を生かした観光振興
- (20) 東京をゲートウェイとした日帰り旅行の魅力発信
- (21) 自治体と連携した観光促進
- (22) 各種情報の発信、共有及びネットワークの拡大

2 コンベンション誘致に関する事業…………… 8

- (1) 東京都 MICE 連携推進協議会の運営
- (2) MICE マーケティング戦略の構築
- (3) ビジネスイベント情報発信の展開
- (4) ビジネスイベントプロモーション基盤の強化
- (5) 国際会議誘致・開催支援事業
- (6) 企業系イベント誘致・開催支援事業
- (7) イベント等誘致・開催等支援事業
- (8) 島しょ地域における MICE 誘致促進事業
- (9) 多摩地域における MICE 誘致促進事業
- (10) ユニークベニューワンストップ窓口の設置
- (11) ユニークベニューの魅力発信
- (12) ユニークベニュー利用促進事業
- (13) ユニークベニュー施設の受入環境整備支援
- (14) MICE 拠点育成支援事業
- (15) MICE 施設の受入環境整備支援
- (16) 都市間連携によるビジネスイベント誘致の推進
- (17) 次世代型 MICE の推進
- (18) 環境配慮型 MICE の推進
- (19) メタバースを活用した MICE 誘致促進
- (20) ビジネスイベント専門人材育成
- (21) サステナブル MICE 発信

3 地域の観光振興に関する事業…………… 17

- (1) 観光団体・民間事業者等との連携による地域振興

(2) 魅力を高める観光資源の開発	
(3) 観光まちづくりの支援事業の実施	
(4) 東京フィルムコミッション事業	
(5) 東京シティガイド検定の実施	
(6) 被災地応援ツアーの実施	
4 観光産業の支援に関する事業	29
(1) 東京観光産業ワンストップ支援センターの運営	
(2) 観光産業の活性化	
(3) 受入環境インフラの整備	
5 観光情報の発信に関する事業	32
(1) ウェブサイトによる情報発信	
(2) 東京ブランドの推進事業	
(3) ウェルカムカードの作成	
(4) ムスリム及びベジタリアン旅行者向けパンフレットの作成	
(5) 観光ボランティアの管理運営	
(6) 多言語メニュー作成支援ウェブサイト（EAT 東京）の運営	
(7) 東京観光デジタルパンフレットギャラリーの管理運営	
(8) 東京観光情報センター等の管理運営	
(9) 広域的な観光案内拠点等の整備及び運営支援	
6 広報・調査研究に関する事業	37
(1) 財団コーポレートサイトでの情報発信	
(2) 共同研究・アドバイザリー会議の実施	
(3) 「持続可能な観光」への貢献	
7 その他事業	38
(1) 大阪観光局との連携	
(2) 後援	
(3) 委員会への参加	
II 収益事業	
1 旅券交付に伴う東京都手数料徴収及び収入印紙販売事業	40
2 テキスト販売事業	40
3 物品等販売事業	40
4 Old meets New 東京街歩きツアー事業（新規事業）	40
III その他事業（相互扶助等事業）	
1 賛助会員に関する事業	40
(1) TCVB ミーティングの開催	
(2) 賛助会員交流会の開催	
(3) ビジネス交流会・会員施設視察交流会の開催	
(4) サステナビリティ活動の実施	
(5) TCVB 賛助会員向けニュース速報の配信	
(6) TCVB レポートでの情報発信	

I 公益目的事業

1 海外からの旅行者誘致に関する事業

(1) 市場動向調査 <東京都受託事業>

訪都外国人旅行者の増加を目指して効果的に観光プロモーションを実施していくため、プロモーション対象地域及び新規市場等において、各市場における旅マエの行動や興味・関心等を把握し、各種プロモーションの効果的な実施につなげた。

(2) アイコン等を活用したプロモーション <東京都出捐金事業>

企業との企画商品の開発支援、ウェブサイトや SNS 等を活用したプロモーション、管理事務局の運営、PR グッズ制作のほか、アイコンを国内外で用いて世界の旅行者に東京の魅力を効果的に訴求し、訪都旅行者の増大を図った。

(3) 海外市場向け東京の魅力発信プロモーション <東京都出捐金事業>

海外市場に向けて「旅行地としての東京」を印象づけ、効果的に世界の旅行者に東京の魅力を訴求していくため、オンライン広告の掲出やテレビ CM の放映実施、観光レップを活用したプロモーション、世界有数の観光都市との相互 PR を行った。

(ア) オンライン広告

Google、YouTube 等を活用したオンライン広告を掲出するとともに、オンライン広告用に制作した動画等を活用し、Tokyo Tokyo 公式サイトへ誘導等を行うことで、東京ブランドの PR を実施した。

(イ) テレビ CM の放映等

CNN International、Euronews といった世界規模のテレビ局のネットワーク等において、訪都外国人旅行者の増大を目的に東京の PR 映像等を放映し、東京の魅力を訴求した。

(ロ) 世界有数の観光都市との相互 PR

世界有数の観光都市である米国ニューヨークと相互に連携し、広告媒体等を通じて両都市の魅力を一般市民向けに PR した。旅行目的地としての各都市の認知度を高め、都市間の旅行者の増加を図った。

(4) 高付加価値旅行者向けプロモーション <東京都出捐金事業>

より多くの観光消費が期待できる高付加価値旅行者を対象に、プロモーションを実施した。高付加価値旅行に特化した旅行会社、コンサルタント等が加盟する国際組織を活用して、当該市場における東京の存在感を高めるとともに、欧米豪・アジアでの商談会等への出展、高付加価値旅行者向けコンテンツの整備・開発・発信活動や関連事業者向け講座・視察等を行った。

(5) 東京観光レップの運営 <東京都出捐金事業>

北米 3 市場（アメリカ（NYC、LAX）・カナダ）、欧州 5 市場（イギリス、ドイツ、イタリア、スペイン、フランス）、豪州、アジア 4 市場（中国・韓国・台湾・マレーシア（シンガポール・タイ含む））に東京観光レップを設置し、メディア及び現地旅行事業者に対するセールス活動や情報提供等を行った。また、全レップによる海外市場セミナー・市場別相談会を開催した（令和 6 年 6 月 10 日）。

・ 海外市場セミナー・市場別相談会 参加者数：204 名

(6) 多様なチャネルを活用した BtoB プロモーション <東京都補助金事業>

市場の特性に応じた観光プロモーションを行うことで外国人旅行者誘致を促進した。

(ア) オンライン商談プラットフォーム

本プラットフォームにおいて、都内観光事業者が現地事業者とのネットワーク構築を図る機会を確保するとともに、旅行先としての東京の魅力を効果的に発信した。

(イ) 訪問営業

都内事業者と連携して現地へ訪問し、有益な商談を実施してネットワーク強化を図る機会を確保するとともに、東京への送客を促進するために、旅行先としての東京の魅力を紹介した。

- ・ パリ、レンヌ（令和6年11月12日、13日）
- ・ チェンマイ、バンコク（令和6年11月12日、13日）

(ロ) ファムトリップ

東京観光レップ設置市場の有力な旅行事業者等を招聘し、ファムトリップを実施して訪都旅行商品の造成・販売を促進した。

- ・ 招聘者：計37名

(エ) 東京観光レップ主催旅行事業者向けセミナー

東京観光レップを設置している市場において、現地旅行事業者・メディア等を集め、東京の魅力や最新情報を伝えるセミナーを開催した。

- ・ セミナー実施件数：17件

(オ) 旅行博・商談会

訪都旅行者を誘致するにあたり重要とみなす海外市場において、国際旅行博や商談会へ参加し、東京観光情報の提供及びPRを行うとともに、都内事業者のネットワーク機会の構築を図った。

① 旅行博

- ・ 台湾 台北国際観光博覧会 TTE（令和6年5月31日～6月3日）
- ・ オーストラリア JNTO Japan Roadshow（令和6年8月26日）
- ・ ベトナム International Travel Expo Ho Chi Minh City（令和6年9月5日～7日）
- ・ マレーシア MATTA FAIR（令和6年9月6日～8日）
- ・ フランス IFTM Top Resa（令和6年9月17日～19日）
- ・ イタリア TTG（令和6年10月9日～11日）
- ・ カナダ Salon International Tourisme Voyages（令和6年11月1日～3日）
- ・ カナダ Japan: Delve Deeper（令和6年11月5日）
- ・ イギリス World Travel Market（令和6年11月5日～7日）
- ・ タイ Visit Japan FIT FAIR（令和6年11月8日～10日）
- ・ オーストラリア Luxperience（令和6年11月19日～22日）
- ・ 中国 国際旅游交易会 CITM（令和6年11月22日～24日）
- ・ スペイン FITUR（令和7年1月22日～26日）
- ・ アメリカ New York Travel & Adventure Show（令和7年1月25日～26日）
- ・ アメリカ Los Angeles Travel and Adventure Show（令和7年2月22日～23日）
- ・ カナダ The Outdoor Adventure and Travel Show（令和7年3月1日～2日）
- ・ ドイツ ITB Berlin（令和7年3月4日～6日）

② JNTOによる現地商談会

- ・ インドネシア（スラバヤ、ジャカルタ、メダン）（令和6年11月11日、13日、15日）
- ・ インド（デリー、ベンガルール、ムンバイ）（令和6年11月18日、20日、22日）
- ・ フィリピン（マニラ）（令和6年11月19日）

(カ) 東京ニュース

メディアや旅行事業者を対象として、東京の最新ニュース等を定期的に配信した。

- ・ 年間12回、各月

(キ) 海外メディアサポート

東京を紹介する魅力的な記事や映像配信の促進を図るため、海外メディアの取材をサポートした。

- ・ サポート件数：39件

(ク) 民間企業とのジョイントプロモーション

以下2件のプロモーションを実施し、東京の魅力をPRした。

- ・ 株式会社エイチ・アイ・エスとの連携により、ベルリン支店、フランクフルト支店及びロンドン支店とタイアップし、各支店において東京のキオスクを疑似体験で

きる空間作り及びイベント実施をし、特設サイトやインフルエンサー等を通してPRを実施。

- ・ 台湾・香港向けに日本情報専門サイト等を展開する株式会社ジーリーメディアグループとタイアップし、オウンドサイトに東京のコンテンツ記事を格納する特設コーナーを設置。また、台湾現地から募集選定された4名を東京に招聘し、滞在中の様子を招聘者のアカウントから投稿するPRを実施。

(7) 東京シティプロモーション（新規）〈東京都出捐金事業〉

観光消費額が高く経済波及効果の高い市場へのプロモーションを米国ニューヨーク市で実施し、現地旅行事業者やメディア、一般消費者向けに東京の魅力を発信した。

- ・ 実施日：令和6年10月25日（旅行事業者・メディア向け）、26日（一般市民向け）
- ・ 都内事業者参加社・団体数：20社・団体
- ・ メディア集客：14社 旅行会社集客：37社

成長見込市場のインド・ムンバイにて大型旅行博のOTMに出展及び同会場にてセミナーを開催し、旅行事業者・メディア等に東京の魅力を発信した。また、時期を連動し同地域の一般顧客層に向けて、オンラインでの映像配信を行い東京の露出を展開した。

- ・ OTM出展：令和7年1月30日、31日、2月1日
- ・ セミナー：令和7年1月31日 集客（旅行事業者、メディア）115名
- ・ 都内事業者参加社・団体数：16社・団体（資料・映像出展のみ）

(8) 東京から日本の魅力新発見 〈東京都負担金事業〉

東北6県・仙台市、中国・四国9県、九州7県、北陸4県及び航空・鉄道事業者等と連携し、各地域の強みを生かした東京を起点とする観光ルート等を掲載した共同ウェブサイトの運営を行った。また、欧米豪の英語圏（米・英・豪）3市場から8社8名を招聘した共同招聘旅行・商談会の実施、オンライン広告の実施、メディアを活用した情報発信、海外OTAを活用したPRを行い、多様な訪日旅行の新たな魅力を海外に向けて広く発信した。

(9) 地方連携参画型広域プロモーション 〈東京都受託事業〉

増加する個人旅行者の多様なニーズに対応し、東京と他自治体との連携による観光立国実現へ寄与するため、東京と他自治体双方への旅行者誘致と観光振興を推進する共同プロモーションを自治体等と連携して実施した。また、関東域内の各県等と協力して、関東広域エリアへの国外からの来日促進のため、サステナビリティ等の観点を軸とした共同デジタルプロモーションやファミトリップ等を実施した。

- ・ 連携自治体・団体等：21府県（石川県、神奈川県等）ほか

(10) 渡航ルート多様化等を見据えた日本各地との新たな連携 〈東京都負担金事業〉

海外からの渡航ルートが多様化する中、日本各地（新潟県、和歌山県、大阪府）と東京が相互で外国人旅行者の送客の促進や国内旅行需要の喚起につなげるため、オンラインメディアやOTAと連携した観光プロモーション等を実施した。また、大阪・関西万博を見据え、東京と大阪の二大都市の魅力を比較した海外向け情報発信等により、海外からの旅行者の受入機運醸成を図った。

(11) 世界自然遺産を活用した観光振興 〈東京都負担金事業〉

小笠原諸島と同様、世界自然遺産登録地が存在する北海道、青森県、秋田県、鹿児島県、沖縄県と連携し、共同ウェブサイトの運営、オンライン広告、有力メディアにおける情報発信、OTAを活用したPR等を行った。

また、前述の地方公共団体と連携し、東京と日本各地への旅行者誘致促進を目的とする、現地交流会（沖縄県北部及び徳之島）、シンポジウム及び商談会を実施した。

- ・ 現地交流会：令和6年11月11日～15日
セラー12団体、バイヤー9社
- ・ シンポジウム（東京）：令和7年1月28日（オンライン開催）

- ＜オンライン＞申込者数 570 名、同時視聴者 303 名
- ・ 商談会（東京）：令和 7 年 1 月 29 日
- セラー12 団体、バイヤー16 社、商談件数 66 件

(12) 国際スポーツ大会を契機とした観光振興 ＜東京都負担金事業＞

国内で実施される国際スポーツ大会の機会を活用し、ウェブサイト・SNS による東京及び東京以外の会場も含めた各地の観光情報の発信により、観戦客の東京及び日本各地への観光促進を図った。デフリンピック、世界陸上の開催に向け、特設ページを開設するとともに、英米豪に向けた広告を強化した。

(13) 青少年の教育旅行受入促進事業 ＜東京都出捐金事業＞

都内の学校関係者への学校交流受入説明会の開催をはじめ、受入窓口の運営を行い、海外青少年の教育旅行の受入を促進した。また、海外有望市場で実施された相談会等に参加し、現地教育関係者や旅行事業者へ PR を行った。併せて、ウェブサイトに掲載する情報を拡充して国内外教育旅行の受入に向けた PR を行ったほか、教育旅行を活用した都内学生への地域理解促進に向けた取組を行った。

- ・ 受入意識調査の実施（回答数 259 件）
 - ・ 受入説明会の実施（オンライン・20 校/団体 20 名参加）
 - ・ 個別説明の実施（12 件）
 - ・ 学校交流の実施・支援（19 件）
 - ・ 有望市場向け相談会・意見交換会等参加
- ① 台湾：「2024 年度台湾における訪日教育旅行促進事業現地セミナー・個別相談会」参加（JNT0 主催：令和 6 年 6 月 17 日、18 日 台北、高雄）
- ② 台湾：「日台教育旅行関係者意見交換会」参加（JNT0 主催・令和 6 年 10 月 22 日 東京）
- ③ オーストラリア：「Japan Educational Travel Seminar」参加（JNT0/Saizen Tours 主催：令和 7 年 2 月 18 日、20 日 ゴールドコースト、アデレード）

(14) 多様なツーリズムの推進 ＜東京都出捐金事業＞

東京の旅行先としての新たな魅力を訴求するため、都の施策と連携したテーマや東京の強みを訴求すべく、アニメ、フード、ナイトタイム、LGBTQ 等のテーマを設定し、Le Figaro、The Economist や Travel+Leisure 等の海外媒体を活用して、外国人旅行者の多様な関心・志向に対応したプロモーションを行った。

(15) 成長見込市場等における PR の推進（新規） ＜東京都出捐金事業＞

観光消費又は訪都旅行者の面で増加及び成長が期待できる市場として、インド、インドネシア、スウェーデン、サウジアラビアの 4 市場において、現地屋外・交通広告、現地有力メディアや OTA サイト等を活用し、東京の魅力を発信、訪都意欲を喚起する広告プロモーションを実施した。

(16) メタバースを活用した観光 PR ＜東京都出捐金事業＞

若年層やファミリー層を主なターゲットとして、世界中に多くのユーザーを有するメタバース空間を活用し、東京観光を疑似体験できる体験型ゲームや ARWeb アプリとの連動により、東京の魅力発信、訪都意欲の向上を図る観光 PR を実施した。

(17) 国際的なイベントを活用した観光 PR ＜東京都出捐金事業＞

世界各国から注目が集まる国際的なイベント開催 1 年前の機会を捉え、主に欧米豪市場を対象としてオンラインメディアや複数の航空会社の機内誌広告等を通じ、観光都市としての東京の魅力を効果的に発信する観光プロモーションを実施した。また、大会 1 年前に開催されるイベントに合わせて訪都した各国選手団や大会関係者を対象に、東京観光を想起するギフトを制作し、提供した。

(18) 近隣県と連携した海外向けレガシーPR <東京都負担金事業>

東京 2020 大会が開催された近隣県（埼玉県・千葉県・神奈川県・山梨県）と連携し、大会のレガシーを活用した東京と近隣県の観光ルートの設定（東京ー各県及び 1 都 4 県ルートの計 5 本）や旅行地としての魅力を紹介する動画の制作、アメリカ、フランス、オーストラリア出身のインフルエンサーやイギリスの旅行会社ら計 10 名の共同招へいのほか、東京及び近隣県の魅力を紹介するウェブサイトの運営、交通広告や海外メディアを活用した国内外の旅行者への情報発信等の海外向け観光プロモーションを実施し、訪都外国人旅行者の都内近隣エリアの周遊を促進した。

(19) 山形県との連携による女性の視点を生かした観光振興 <東京都負担金事業>

山形県と連携し、女性の目線を生かした両都県の観光スポットや観光情報の発信を行った。女性誌への記事出稿、旅行小冊子の発行等、東京及び山形県双方への旅行を喚起する共同プロモーションを行い、両都県の連携による相互観光を推進した。

(20) 東京をゲートウェイとした日帰り旅行の魅力発信（新規） <東京都負担金事業>

アメリカ、オーストラリア、イギリス出身のインフルエンサー計 8 名を招聘し、YouTube や Instagram 等のインフルエンサーの保有媒体や本事業のウェブサイトを通じて、東京に滞在しながら都外の観光地へ足をのばす旅行スタイルの発信等を行った。

(21) 自治体と連携した観光促進（新規） <東京都負担金事業>

外国人旅行者の多様化するニーズに応じてインバウンド需要を取り込んでいく必要性から、これまで東京と連携事業を実施していない、又は連携意欲の高い自治体等（青森県、新潟県、石川県、山梨県、愛知県等）とタイアップし、オンラインプロモーションやファムトリップ、写真展の実施など、共同で双方への送客を図る観光プロモーションを実施した。

(22) 各種情報の発信、共有及びネットワークの拡大

日本政府観光局（JNTO）等が実施するセミナーや商談会等へ参加し、市場動向の把握や現地でのネットワーク拡大等を図った。

2 コンベンション誘致に関する事業

東京開催コンベンションの実績

- ・ 国内基準（日本政府観光局「2023 年国際会議統計」）
会議開催件数 332 件 国内都市別順位 1 位
- ・ 国際基準（国際会議協会（ICCA）統計 2023）
会議開催件数 91 件 国際都市別順位 13 位

(1) 東京都 MICE 連携推進協議会の運営（一部拡充） <東京都補助金事業>

(ア) 東京都 MICE 連携推進協議会の設置

財団が主体となり、国や事業者等の様々な関係主体と連携を図り、より効果的にビジネスイベントを誘致・開催するため、MICE 連携推進協議会並びに拠点、サステナビリティ、魅力発信及び次世代型 MICE の各部会を実施した（計 10 回）。

(イ) MICE シンポジウムの開催

MICE 関連事業者や都民にビジネスイベント誘致・開催の意義や重要性等の普及啓発を図るシンポジウムやセミナーを開催した。

- ・ 令和 6 年度東京都 MICE シンポジウム
開催日：令和 7 年 1 月 22 日
会 場：ベイサイドホテル アジュール竹芝「飛鳥」、八丈町多目的ホール「おじゃれ」
テーマ：国際会議等の参加者の満足度向上について考える
参加者：115 名

- ・ 令和 6 年度東京都 MICE セミナー
開催日：令和 7 年 2 月 14 日
会 場：神田明神ホール
テーマ：先端テクノロジーで実現する次世代型 MICE とは
参加者：75 名

(2) MICE マーケティング戦略の構築 <東京都受託事業>

(ア) 東京都 MICE 誘致戦略に基づく調査等

今後の戦略的な施策展開に向け、国内外の MICE 施設及びユニークベニュー施設等に関する課題等を把握するための調査を実施した。

(イ) 事業効果測定及び施策等の検証

企業系イベント、国際会議及び展示会・イベントの具体的施策の効果を測定し、より効果的な誘致活動の実施につなげる。また、日本政府観光局（JNTO）等が公表する国際会議データとして提供するため、都内で開催された国際会議について、会議名や主催者名、参加者数等の調査を実施した。以上の結果を踏まえ、より実効的な施策への見直しを図った。

注）企業系イベントとは、企業系会議及び報奨旅行等の総称。

(3) ビジネスイベント情報発信の展開 <一部東京都補助金事業>

(ア) ビジネスイベント開催情報発信

国内外の主催者・プランナーに対し、東京でのビジネスイベント開催に必要な情報や東京の都市の魅力等をウェブサイトで PR し、東京への誘致を促進した。

海外のプランナーやプレスに対し、「Business Events Tokyo Newsletter」を年間 4 回配信した。さらに、海外のプレスに対しては、東京のビジネスイベント最新情報をプレスリリースの形で配信した。

(イ) 広告掲載による PR 強化（一部拡充） <東京都補助金事業>

① 企業系ビジネスイベント

ビジネスイベントの専門誌が運営するウェブサイト等に、東京の魅力を PR するバナー広告等を掲載し、東京へのビジネスイベント誘致を促進した。

- ・ South China Morning Post 年 1 回（バナー広告）
- ・ The Straits Times 年 1 回（バナー広告）
- ・ TTG mice 年 1 回（バナー広告）

② 国際会議

国内外の学術研究誌等を活用し、国際会議誘致・開催関連事業の周知を目的とした広告掲載を行った。

- ・ 経団連タイムス 年 6 回（紙面広告）
- ・ 学術の動向 年 4 回（紙面広告）
- ・ 日経メディカルオンライン 年 3 回（バナー広告）

また、規模の大きな国際会議の開催について、国内・海外ビジネスイベント専門誌に紹介記事を掲載し、東京の最新の支援内容や国際会議開催都市としての魅力を PR することを目的に記事広告の出稿を行った。

- ・ 国内：日本の研究.com （オンライン媒体）
- 東洋経済 （オンライン媒体）
- ・ 海外：AMI （オンライン媒体）
- TTG mice （オンライン媒体）

③ サステナビリティ

ビジネスイベントにおけるサステナビリティに配慮した取組を提案するショーケースイベントを取り上げた記事広告を掲出し、環境に配慮したビジネスイベント都市としての東京の魅力を訴求した。

- ・ 日経ビジネス 年 1 回（紙面及び電子版）

④ ユニークベニュー

都内のユニークベニュー施設とその利活用を取り上げた記事広告等を以下の媒体に掲出した。

- ・ 国内：日経ビジネス 年1回（記事広告）
日経ビジネス電子版 年1回（記事広告）
- ・ 海外：MPI 年1回（記事広告）
TTG mice 年1回（記事広告）
CIM 年1回（記事広告）
GDN、Taboola、LinkedIn 等を活用したオンラインバナー広告 4ヶ月程度

(ウ) ファムトリップ <東京都補助金事業>

主催者に対して開催候補地のリストアップや開催地決定に関する提案等を行う立場にある、アジアパシフィックエリアからのミーティングプランナーに向けて、開催都市としての東京の魅力や支援内容を効果的にPRし、東京でのビジネスイベント開催の拡大を図った。

- ・ Aコース
実施期間：令和6年9月2日～6日
参加者：ミーティングプランナー10名
- ・ Bコース
実施期間：令和6年9月9日～13日
参加者：ミーティングプランナー10名

(エ) 海外ミーティングプランナーとのネットワーク構築 <東京都補助金事業>

海外ミーティングプランナー等と連携体制を構築することで、現地における誘致案件や優良顧客情報等を収集するとともに、現地での東京PRの強化に努めた。また、海外ミーティングプランナーと都内事業者のネットワーク構築及び情報交換の場としてクライアントイベントを開催し、東京でのビジネスイベント開催を促した。

- ・ ラスベガス
開催日：令和6年10月8日
会場：パーク MGM
参加者：ミーティングプランナー24名、都内事業者19名
- ・ バルセロナ
開催日：令和6年11月20日
会場：ノブホテルバルセロナ
参加者：ミーティングプランナー12名、都内事業者18名
- ・ バンコク
開催日：令和7年2月5日
会場：ニッコーバンコク
参加者：ミーティングプランナー18名、都内事業者11名

(オ) 海外拠点による国際会議主催者とのネットワーク構築 <東京都補助金事業>

国際団体本部が多く所在する北米と欧州にセールス機能を持つ事業者と連携体制を構築し、国際団体本部に対し、直接的かつ継続的に国際会議都市東京のPRや誘致活動・情報収集等を行うとともに、セールス活動を実施した。また、国際会議都市東京のPRや誘致活動の一環として、国際団体本部やコアPCOを招待し、プロモーションや商談を行うビジネスマッチングイベントを開催した。

- ・ ロンドン
開催日：令和7年1月23日
会場：ザ・プリンス・アカトキ
参加者：国際団体本部担当者等18名
- ・ シカゴ
開催日：令和7年2月26日
会場：MOMOTARO
参加者：国際団体本部担当者等21名

(カ) 効果的なプロモーションのためのツール整備 <東京都補助金事業>

東京都が指定するビジネスイベント先進エリア及び重点支援エリアの認知度向上を図るため、各エリアをPRするウェブサイトの更新及びウェブサイトへの案内広告の配信を行った。また、オンライン誘致ツール（バーチャルサイトビジット）の運営保守・更新を行った。

(キ) 海外トレードショーへの出展（一部拡充） <東京都補助金事業>

官民連携による「ALL TOKYO」でのプロモーションを展開するため、欧州の IMEX Frankfurt 及び ibtm world、北米の IMEX America、アジアパシフィックの AIME に都内ビジネスイベント関連事業者と共同出展を行った。

- ・ IMEX Frankfurt
会 期：令和 6 年 5 月 14 日～16 日
会 場：フランクフルト・Messe Frankfurt
- ・ IMEX America
会 期：令和 6 年 10 月 8 日～10 日
会 場：ラスベガス・Mandalay Bay
- ・ ibtm world
会 期：令和 6 年 11 月 19 日～11 月 21 日
会 場：バルセロナ・Fira Barcelona Gran Via
- ・ AIME
会 期：令和 7 年 2 月 10 日～12 日
会 場：メルボルン・Melbourne Convention and Exhibition Centre

(ク) SNS の運用 <東京都補助金事業>

SNS を活用し、ビジネスイベント主催者・関連事業者等へ継続的な情報発信を実施した。

(4) ビジネスイベントプロモーション基盤の強化 <東京都補助金事業>

海外諸都市との熾烈な国際競争を勝ち抜くため、海外先進都市で組織される国際的アライアンス「ベストシティーズ・グローバルアライアンス」に東京として加盟し、各種情報収集を行い、ビジネスイベントの開催地としての東京のプロモーションに役立てた。

また、その他ビジネスイベント関連団体等の総会や研修会に 3 名の職員を参加させ、海外のビジネスイベント関連団体との接点の増加を図り、情報収集や誘致活動につなげた。

加えて、海外の国際機関・企業等へ 2 名の職員を派遣し、誘致・開催に係るノウハウ習得等、国際競争の最前線を経験させるとともに、当該機関等と新たな関係性を構築した。

(5) 国際会議誘致・開催支援事業（一部拡充） <一部東京都受託・出捐金事業>

(ア) 国際会議誘致支援

① 誘致マーケティング及びプロモーション活動

- ・ 開催意向調査の実施
国内の学会・協会事務局及び東京周辺の主要大学のキーパーソン 4,615 名に対し、国際会議の開催意向調査を実施した。
- ・ 会議主催者への誘致活動
開催の可能性のある国際会議の国内学協会等に対し、国際会議開催に必要な情報（会議施設、宿泊施設、アフターコンベンション情報、支援策等）を積極的に提供し、東京への誘致に努めた。
- ・ 国内見本市への出展
観光庁、日本政府観光局（JNTO）、日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（JCCB）が主催する「第 34 回国際ミーティングエキスポ（IME2025）」（令和 7 年 2 月 13 日）に出展し、商談を行った。
- ・ 国内都市選定に向けた誘致活動
国内都市選定に向けて、「国際会議都市・東京」の優位性をアピールするプロポージルの作成やプレゼンテーションを実施した。

② 誘致プロモーション活動

・ 海外会議主催者等の視察支援

会議主催者等、海外のキーパーソンを国内主催者が招聘する際などに、都内会議施設の視察、関連事業者の紹介、観光スポットの紹介、財団の支援策の案内等を通じて支援し、東京での開催を促進した。

・ 開催都市決定への支援活動

東京開催の意義が大きい重要な国際会議等については、ビッドペーパー（立候補書類）や誘致ツール等の作成支援のほか、開催地決定権限のある委員への直接セールスや海外での総会等において東京のアピールを行い、東京での開催決定を促進した。

(イ) 国際会議開催支援 <一部東京都受託事業>

① 参加促進への支援活動 <東京都受託事業>

東京開催が決定した大規模国際会議の前回大会において、東京ブースを設置し、開催地としての東京の情報提供や東京の魅力のアピールをすることで、海外関係者の東京開催時の参加促進を図った。

・ The International Symposium on Computer Architecture 2024 (ISCA 2024)

会 期：令和6年6月29日～7月3日

場 所：ブエノスアイレス

・ 第21回アジア太平洋小売業者大会

会 期：令和6年9月4日～6日

場 所：コロンボ

② 開催運営への支援活動

東京開催が決定した国際会議に、宣伝ツールの提供、観光やユニークベニュー利用に関する情報提供等を行い、主催者を支援した。

③ 国際会議開催支援プログラム <東京都受託事業>

東京で開催される国際会議の中で一定の要件を満たすものに対し、開催時に都内観光ツアーや日本文化体験プログラム等、参加者が東京の魅力やホスピタリティを体験できるような支援プログラムを実施した。

・ ISIAN & IRS 2024

会 期：令和6年4月4日～6日

・ 第16回国際口蓋裂協会世界大会 (CLEFT TOKYO 2024)

会 期：令和6年7月17日～19日

④ 観光ボランティアを対象とした国際会議向けの研修 <東京都受託事業>

東京で開催される国際会議において、主催者の負担軽減を目的として英語対応可能な観光ボランティアをスタッフとして派遣した。また、観光ボランティアに対し、国際会議の海外参加者を案内するために必要な知識やマナー等の事前研修を実施した。

・ The 35th CINP World Congress of Neuropsychopharmacology (CINP 2024)

会 期：令和6年5月23日～26日

・ The 16th world congress of the International Cleft Lip and Palate Foundation (ICPF) (CLEFT TOKYO 2024)

会 期：令和6年7月17日～19日

・ SIGGRAPH Asia 2024

会 期：令和6年12月3日～6日

(ウ) 国際会議誘致・開催資金助成等事業（一部拡充） <東京都出捐金事業>

① 国際会議誘致支援

東京都への国際会議の誘致を予定する5団体に対し、誘致活動に要する経費を助成する誘致助成金の交付を決定した。

② 国際会議誘致・開催支援

国際会議開催助成の交付対象会議として、34件の国際会議を登録した。また、25件の開催地が東京に決定した。

＜主な東京開催決定会議＞

- ・ IEEE 音響・音声・信号処理に関する国際会議 2028（2028 年開催、参加者約 4,000 名）
- ・ 第 41 回世界獣医師会大会（2026 年開催、参加者約 6,000 名）
- ・ 第 26 回世界哲学会議（2028 年開催、参加者約 4,000 名）

(6) 企業系イベント誘致・開催支援事業 ＜一部東京都受託・補助金事業＞

(ア) 商談会への参加

国内外の商談会等に参加し、東京のビジネスイベントに関する最新情報や企業系ビジネスイベント開催のための支援等について情報提供を行った。

- ・ VISIT JAPAN トラベル&MICE マート 2024 会期：令和 6 年 9 月 26～28 日
- ・ JNTO インセンティブ旅行商談会（フィリピン） 会期：令和 7 年 1 月 22 日
- ・ The UNESCO TRAVEL FEST 2025（ベトナム） 会期：令和 7 年 3 月 14 日

(イ) 企業系イベント誘致支援事業 ＜東京都補助金事業＞

東京での開催を検討している 8 件の企業系ビジネスイベントの主催者に対し、視察時の渡航費や滞在費を補助するとともに、視察団のニーズを踏まえた視察コースの設定や都内サプライヤーの紹介等を行った。

- ・ 美容系企業インセンティブツアー（令和 6 年 10 月・1,180 名・マレーシア）
- ・ 保険会社インセンティブツアー（令和 6 年 9 月・842 名・フィリピン） 等

(ロ) 企業系イベント開催支援事業 ＜東京都補助金事業＞

東京で開催された 65 件の企業系ビジネスイベントの主催者に対し、ギブアウェイやパーティーへのアトラクション派遣、空港での出迎え等の支援を提供した。

- ・ 保険会社インセンティブツアー（1,420 名・中国）
 - ・ 半導体企業インセンティブツアー（946 名・台湾） 等
- また、中規模以上の案件 1 件に、会場借上げ支援を行った。
- ・ 健康食品販売企業インセンティブツアー（450 名・台湾）※中規模

(エ) 企業系イベント開催支援メニュー開発 ＜東京都受託事業＞

海外のミーティングプランナー等と連携し、海外競合都市と比較して不足している分野や、最新のトレンドを取り入れたメニュー、また周遊型の報奨旅行のニーズを捉え、国内他都市で提供されるメニューとの差別化を意識したメニューの開発を行い、東京ならではの特別感のあるコンテンツを提供することに繋げた。また、開発したプログラムの紹介をするための動画を撮影し、PR ツールとして活用した。

(7) イベント等誘致・開催等支援事業 ＜東京都受託・出捐金・補助金事業＞

(ア) 展示会における海外参加促進支援 ＜東京都補助金事業＞

東京で開催される展示会の国際化を促進するため、東京で開催された展示会の主催者に対し、当該展示会の海外への PR や海外バイヤーの誘致、開催時の通訳手配等に係る経費を助成した。

- ・ 第 98 回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋 2024 及び第 99 回東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2025
- ・ GOOD LIFE フェア 2024
- ・ JIMTOF 2024（第 32 回日本国際工作機械見本市）
- ・ nano tech 2025（第 24 回国際ナノテクノロジー総合展・技術会議）

(イ) イベント等開催支援プログラム

① イベント等誘致支援事業 ＜東京都出捐金事業＞

申請なし

② イベント等開催支援事業 ＜東京都受託事業＞

東京で開催された大規模国際イベント等に対し、開催時に都内観光ツアーや日本文化体験プログラム等、参加者が東京の魅力やホスピタリティを体験できるような支援プログラムを実施した。

- ・ SusHi Tech Tokyo Global Startup Program

(8) 島しょ地域における MICE 誘致促進事業（一部拡充）＜東京都受託・出捐金・補助金事業＞

(ア) 島しょ地域における MICE 誘致・開催資金助成等事業 ＜東京都出捐金事業＞

① MICE 誘致支援

申請なし

② MICE 誘致・開催支援

申請なし

(イ) 島しょ地域における MICE 開催に向けたプロモーション ＜東京都補助金事業＞

MICE 主催者やミーティングプランナー等に対し、島しょ地域での MICE 開催を促進するため、島しょ地域の MICE 関連事業者と連携して国内都市を訪問するロードショーや、島しょ地域でのファムトリップ等のプロモーション活動を実施した。

- ・ セールスコール 1 回（東京都 MICE シンポジウム内で実施）
- ・ ロードショー 2 回（東京・大阪にて実施）
- ・ ファムトリップ 1 回（八丈島にて実施）

(ロ) 「島しょ地域への MICE 誘致のモデル地区」への支援（一部拡充） ＜東京都受託事業＞

島しょ地域で会議施設や宿泊施設が比較的充実している八丈島を「島しょ地域への MICE 誘致のモデル地区」とし、観光協会をはじめとした地元関係者等による受入体制構築に向けた支援を実施した。

また、八丈島以外の島しょ地域に対し、体制構築に向けた支援を行うべく、大島での調査検証及び父島での視察調査を実施した。

(9) 多摩地域における MICE 誘致促進事業 ＜東京都出捐金事業＞

多摩地域での MICE 開催を予定する主催者に対し、国際空港から MICE 開催地域への参加者の輸送費用等に要する経費に係る助成金の交付を決定した。

- ・ Slender Club Japan Live Demonstration & Annual Meeting 2025 in TOKYO

(10) ユニークベニューワンストップ窓口の設置 ＜東京都受託事業＞

(ア) ユニークベニューワンストップ総合支援窓口の問合せ対応業務

ユニークベニュー（特別感のあるパーティー会場等）利用希望者に対し、豊かな知見に基づくコンサルティングによる適切な施設の紹介、特別感を演出できるイベントの企画提案、利用施設等との調整の支援、都内 MICE へのホスピタリティデスク提供の機会を活用したユニークベニューの PR 等を行うワンストップ総合支援窓口を設置・運営し、利用者と施設のマッチングを推進した。

(イ) ワンストップ総合支援窓口と施設間の連携体制構築

ワンストップ総合支援窓口と施設、また施設間が連携してユニークベニュー事業を推進していくため、情報共有や意見交換、事業への理解促進に向けた機会を 2 回提供した。

(11) ユニークベニューの魅力発信 ＜東京都受託・補助金事業＞

(ア) 東京ユニークベニューショーケースイベントの実施 ＜東京都補助金事業＞

都内ユニークベニューの魅力や活用方法、課題への対応方法等を幅広く発信・訴求するため、多様な活用方法を提案できるショーケースイベントを実施した。

- ・ 実施日：令和 6 年 11 月 12 日
- ・ 会 場：国立新美術館
- ・ 参加者：280 名

(イ) ユニークベニュー専用ウェブサイトの管理・運営 ＜東京都受託事業＞

海外の MICE 主催者や DMC 等に向けたユニークベニュー専用ウェブサイトの情報更新を行い、都内ユニークベニューの更なる利便性の向上と利用促進を図った。

(12) ユニークベニユー利用促進事業 <東京都補助金事業>

ユニークベニユーについて、利用者の負担軽減を図り、海外都市との誘致競争を有利に進めるため、ユニークベニユーを利用したイベントやレセプション等を行う主催者に対し、会場設営支援を8件行った。

- ・ SEVESKIG/(un)decided SS2025 RUNWAY SHOW
実施日：令和6年7月5日
会 場：国立競技場
- ・ 2025年ALL BYD 事業説明会
実施日：令和7年1月24日
会 場：シティサーキット東京ベイ
- ・ Japan Runway Show AUTUMN/WINTER 2025/2026
実施日：令和7年2月1日
会 場：海の森水上競技場 等

(13) ユニークベニユー施設の受入環境整備支援 <東京都出捐金事業>

申請なし

(14) MICE 拠点育成支援事業 <東京都出捐金事業>

(ア) 東京ビジネスイベント先進エリア・多摩ビジネスイベント重点支援エリア支援事業

東京都が選定した東京ビジネスイベント先進エリア及び多摩ビジネスイベント重点支援エリアの受入体制を向上させるため、国際会議主催者等のニーズを踏まえた支援を行った。

- ① 大手町・丸の内・有楽町エリア
- ② 六本木・赤坂・麻布エリア
- ③ 臨海副都心エリア
- ④ 日本橋・八重洲エリア
- ⑤ 品川・田町・芝・高輪・白金・港南エリア
- ⑥ 八王子エリア
- ⑦ 立川エリア
- ⑧ 浜松町・竹芝・芝浦エリア
- ⑨ 渋谷エリア

(イ) 都内 MICE 拠点を活用したブレジャー需要への対応

申請なし

(ウ) 都内 MICE 拠点を活用した地域活性化支援

申請なし

(15) MICE 施設の受入環境整備支援 <東京都出捐金事業>

都内1施設に対し、デジタルサイネージの更新等に係る経費を助成し、MICEの更なる受入体制強化を図った。

(16) 都市間連携によるビジネスイベント誘致の推進 <東京都補助金事業>

ビジネスイベントの誘致に向けて、国内7都市と連携して共同でプロモーション活動を行った。

- ・ 令和6年度連携都市：札幌市、石川県、京都市、福岡市、愛知県・名古屋市、
沖縄県、福島県

(ア) 企業系イベント主催者向け

令和6年度は以下の都市と連携し、ファムトリップや合同での海外訪問等、誘致に向けたプロモーションを実施した。沖縄県については、東京と沖縄の魅力をPRする記事広告を海外専門誌に掲載した。

<共同ファムトリップ及びメディアファムトリップ>

- ・ 連携都市：沖縄県

実施日：令和 7 年 1 月 19 日～25 日

参加者：ミーティングプランナー5 名、メディア 1 名

- ・ 連携都市：愛知県・名古屋市

実施日：令和 7 年 1 月 19 日～25 日

参加者：ミーティングプランナー5 名

- ・ 連携都市：福島県

実施日：令和 7 年 1 月 22 日～24 日

参加者：ミーティングプランナー2 名

< 合同での海外訪問 >

- ・ 連携都市：沖縄県

開催日：令和 6 年 11 月 20 日

会 場：ノブホテル バルセロナ

参加者：ミーティングプランナー12 名

- (4) 国際会議主催者向け

国内の 7 都市と協力し、連携都市のモデルコース等を紹介するウェブサイト「About Tokyo」を運営した。

(17) 次世代型 MICE の推進 <東京都受託・出捐金事業>

- (ア) MICE 主催者向けガイドラインの効果検証等 <東京都受託事業>

主催者向けガイドラインの活用状況についての調査や、掲載テクノロジーの追加等を行った。また、国立新美術館で開催したユニークベニューショーケースイベントにおいて MICE での活用に向けた実証実験を行った。

- (イ) 次世代型 MICE 開催支援 <東京都出捐金事業>

東京での MICE 開催を予定する主催者に対し、先端テクノロジーを活用して実施する運営経費等の一部を助成するため、7 件の助成金の交付を決定した。

- (ロ) ハイブリッド型会議等開催支援 <東京都出捐金事業>

東京での MICE 開催を予定する主催者に対し、ハイブリッド型会議運営経費等の一部を助成するため、1 件の助成金の交付を決定した。

(18) 環境配慮型 MICE の推進 <東京都受託・出捐金事業>

- (ア) サステナブル MICE サポートデスクの運営 <東京都受託事業>

環境配慮等に精通した専門家を選任し、東京での MICE 開催を予定する主催者 16 団体・企業に対し、環境配慮等の取組について助言を行い、サステナブルな MICE 開催を促進した。

- (イ) 環境配慮型 MICE 開催支援 <東京都出捐金事業>

東京での MICE 開催を予定する主催者に対し、環境等サステナビリティに配慮した取組に要する経費の一部を助成するため、16 件の助成金の交付を決定した。

(19) メタバースを活用した MICE 誘致促進 <東京都受託事業>

東京への MICE 誘致を優位に展開するため、メタバース空間を活用したバーチャル会議場を MICE 開催時に主催者・参加者が利用できるよう運用するとともに、より効果的となるよう改修を図ることで、開催都市である東京の魅力を効果的に発信した。

(20) ビジネスイベント専門人材育成 <東京都負担金事業>

- (ア) ビジネスイベント専門人材育成講座（基礎）の実施

ビジネスイベントのグローバルスタンダードを身に付けた専門人材を育成するため、入門編としての MICE 概論のほか、経験豊かな講師による国際会議・企業系イベントやテーマ別講座（テクノロジー、サステナビリティ、展示会・イベント等）をオンラインで実施した（無料）。

- ・ MICE 概論（全 3 回）

令和 6 年 10 月 1 日

- ・ 展示会・イベント（全 2 回）

令和 6 年 10 月 2 日

- ・ テクノロジー（全3回） 令和6年10月3日
- ・ サステナビリティ（全3回） 令和6年10月4日
- ・ 企業系会議・報奨旅行（全3回） 令和6年10月7日
- ・ 国際会議（全3回） 令和6年10月8日

受講者数：延べ385名

(イ) ビジネスイベント専門人材育成講座（実践）の実施

国際会議、企業系イベントの2分野を対象に、ビジネスイベントの専門人材育成にノウハウを持つ国際団体と連携して海外講師を招聘し、座学講義に加え、ワークショップやディスカッション等を盛り込んだ人材育成講座を実施した（有料）。

- ・ 企業系会議・報奨旅行 令和7年1月14日～15日
- ・ 国際会議 令和7年2月4日～5日

受講者数：延べ33名

(ウ) ビジネスイベントプロフェッショナル人材育成

ビジネスイベント関連事業者に対し、国際団体等が実施する海外の育成プログラムを体験させることに加え、ビジネスイベント関連資格の取得等を支援することにより、世界に通用する人材の育成を支援した。

- ・ CMP 資格取得育成プログラム2名
- ・ The 55th IAPCO Annual Meeting and General Assembly (IAPCO 2025) 1名

(エ) 国際会議主催者向け会議誘致に係る東京都ビジネスイベント施策の普及啓発

国際会議の主催者になり得る国内の大学教授等を対象に、国際会議誘致のための東京都のビジネスイベント施策を紹介するパンフレットを改訂し、広く情報提供した。

(オ) 大学教授への国際会議誘致に係る施策の普及啓発

国際会議主催者になり得る国内の大学教授・医師等を対象に、東京で開催される会議等におけるブースの出展等を通じて、国際会議の誘致・開催に必要な知識、ノウハウ等を提供するとともに、財団の各種支援策の普及啓発を図った。

- ・ 第39回日本整形外科学会基礎学術集会ブース出展 令和6年10月17日～18日

(21) サステナブル MICE 発信（新規）＜東京都補助金事業＞

ビジネスイベントにおけるサステナビリティに配慮した取組を推進するためのノウハウ提供や開催方法等を幅広く発信・展開していくため、多様な手法を提案するショーケースイベントを実施した。

- ・ 東京サステナブル MICE ショーケース
実施日：令和6年12月17日
会 場：赤坂インターシティコンファレンス
参加者：178名

3 地域の観光振興に関する事業

(1) 観光団体・民間事業者等との連携による地域振興 ＜東京都受託・負担金・補助金事業＞

(ア) 「地域支援窓口」の運営

地域（区部、多摩、島しょ）の実情等を勘案しながら、区市町村、観光関連団体、民間事業者、大学等が行う地域の観光振興を総合的に支援する窓口担当を設置し、各種支援策の活用を含めた総合的な提案やサポートを実施した。

- ・ 観光協会との調整回数 190件

(イ) 地域振興助成 ＜東京都補助金事業＞

都内の観光協会等が旅行者誘致の視点で企画するイベント等の観光振興事業に対し、補助金による2件の助成を行った。

	申請団体	事業名
1	東京商工会議所	ツーリズム EXPO ジャパン出展
2	東京北区観光協会	Mission Statement 改訂

(ウ) 東京トラベルマートの開催

観光関連団体や企業等によるテーマを絞った商談会を主催し、観光資源の発掘と旅行商品造成の促進による地域観光の活性化を図った。

- ・ 財団主催「賛助会員交流会」における観光協会共同ブース出展 令和6年11月27日
- ・ 一般社団法人全国旅行業協会（ANTA）主催「国内観光活性化フォーラム in 東京」における観光協会共同ブース出展 令和7年1月28日

(エ) 観光関連団体・大学等との連携

区市町村が設置する各種委員会等への積極的な参画や、都内及び全国の観光関連団体・大学等と積極的に連携を図り、観光情報の発信等を通じ地域の活性化を促進した。

① 公益社団法人日本観光振興協会

地方自治体や地域観光団体、観光関連企業等で構成される公益社団法人日本観光振興協会の以下の各種会合に参加し情報交換を行うとともに、観光関係功労者表彰の推薦や令和6年度日本観光振興デジタルプラットフォーム構築事業に係る実証事業に参画した。

- ・ 関東ブロック広域観光振興事業推進協議会：令和6年4月19日
- ・ 総会：令和6年5月21日
- ・ 関東甲信越静観光協会・連盟協議会
 - 第1回：令和6年7月4日、5日
 - 第2回：令和6年10月4日、5日
 - 第3回：令和7年2月14日
- ・ 第106回公益社団法人日本観光振興協会関東事務局運営委員 令和7年2月14日
- ・ 担当者会議：令和7年2月14日

② 大学連携

都内の大学等を訪問し、東京観光の魅力を紹介する出張講座等を実施するとともに、財団の職場において学生インターンの受入等を実施した。

- ・ 出張講義：多摩大学、杏林大学、玉川大学、JTB ツーリズムビジネスカレッジ
- ・ 学生が考案したツアーの講評：多摩大学、東洋大学
- ・ 職場見学ツアーの実施：國學院大学、津田塾大学、立教大学、文化学園大学
- ・ 職場内インターン受入：東京都立大学

(オ) アンテナショップ支援事業 <東京都受託事業>

都内に集積する日本各地の自治体が運営するアンテナショップを周遊するイベントの実施や広報媒体の作成・配布等のPRを実施することにより、都内消費拡大及び地方への誘客を促した。

① リアルイベント実施

- 第1弾：令和6年9月1日～10月31日、イベント参加店舗数 60 店舗
- 第2弾：令和7年1月7日～2月28日、イベント参加店舗数 60 店舗

② オンラインイベント実施

- 第1弾：令和6年9月1日～10月31日、イベント参加店舗数 68 店舗
- 第2弾：令和7年1月7日～2月28日、イベント参加店舗数 68 店舗

③ アンテナショップ掲載情報冊子作成・配布

作成・配布数 第1弾 40,000 部 第2弾 55,000 部 合計 95,000 部

(カ) 島しょ地域における観光連携実践プロジェクト <東京都受託事業>

東京諸島の連携強化に向け、東京諸島観光連携推進協議会が行う連携実践プロジェクトの運営、ツール・商品開発等の事業実施をサポートした。

(キ) 世界自然遺産を活用した観光振興 <東京都負担金事業>【再掲】

小笠原諸島と同様、世界自然遺産登録地が存在する北海道、青森県、秋田県、鹿児島県、沖縄県と連携し、共同ウェブサイトの運営、オンライン広告、有力メディアにおける情報発信、OTAを活用したPR等を行った。

また、前述の地方公共団体と連携し、東京と日本各地への旅行者誘致促進を目的とする、現地交流会（沖縄県北部及び徳之島）、シンポジウム及び商談会を実施した。

- ・ 現地交流会：令和6年11月11日～15日
セラー12 団体、バイヤー9 社

- ・ シンポジウム（東京）：令和7年1月28日（オンライン開催）
＜オンライン＞申込者数 570 名、同時視聴者 303 名
 - ・ 商談会（東京）：令和7年1月29日
セラー12 団体、バイヤー16 社、商談件数 66 件
- (ク) 観光協会等と連携した観光産業活性化支援事業 ＜東京都補助金事業＞
- 都内の観光協会等と連携し、地域の特産品の販売や地域の観光 PR、疑似旅行体験イベント等を実施し、東京の観光地としての魅力を効果的に発信し、都民だけではなく、観光で訪れる訪都旅行者の誘客拡大を図り、観光を通じた地域の活性化につなげた。
- ・ イベント名：TOKYO 周獲祭 2024
 - ・ 会 期：令和6年11月16日～17日
 - ・ 場 所：東京国際フォーラム
 - ・ 参 加 者 数：45,130 名

(2) 魅力を高める観光資源の開発（一部新規） ＜東京都受託・出捐金・補助金事業＞

(ア) 地域資源発掘型プログラム事業 ＜東京都出捐金事業＞

観光協会のほか民間企業等、多様な主体が共同で実施する観光資源の発掘や既存の観光資源の磨き上げなどによる特産品の開発やイベント等の誘客の取組を支援し、旅行者誘致につなげた。

	申請団体	事業名
1	多摩市観光まちづくり交流協議会 ・ 多摩商工会議所 ・ 多摩センター地区連絡協議会 ・ 京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター ・ 多摩センター商店会 ・ 桜ヶ丘商店会連合会	東京 2020 大会レガシーを活用した多摩市アイランド風まちバル事業
2	東京浅草組合 ・ 一般社団法人浅草観光連盟 ・ 一般社団法人奥浅草観光協会	浅草花柳界における「お座敷」体験招待プログラム等の業務委託
3	一般社団法人式根島エリアマネジメント ・ 一般社団法人式根島観光協会 ・ 新島村商工会	式根島独自の「海中温泉」を新たな観光資源に磨き上げるコンテンツ整備業務
4	やさいじん製作委員会 ・ JA 東京むさし小金井支店 ・ 一般社団法人小金井市観光まちおこし協会	やさいじんを活用した小金井市農業体験プロジェクト
5	【継続補助事業】 一般社団法人こだいら観光まちづくり協会	「小麦の香る街 小平」

(イ) 旅行博による東京の魅力 PR ＜東京都受託事業＞

ツーリズム EXPO ジャパン 2024 に出展し、東京の魅力を効果的かつ積極的に発信した。

- ・ 会期：令和6年9月26日～29日
- ・ 場所：東京国際展示場（東京ビッグサイト）
- ・ 内容：“夜”に楽しみたい各地の飲食物や特産品等の試飲・試食の実施、夜の観光資源を学べるワークショップ等の実施、23 区、多摩、島しょ各エリアの“夜”に楽しめるスポットやグルメ等に関するパネル展示等

(ウ) 多摩・島しょ魅力発信事業 ＜東京都受託事業＞

多摩・島しょ地域の魅力を発信するために、国内旅行者や外国人旅行者に対し、ウェブサイトや SNS 等、様々な情報発信ツールを多角的に活用したプロモーションを実施した。

- ・ ウェブサイト、メディア等による情報発信

多摩・島しょ地域の魅力を発信するために、旅行者に対し、ウェブサイト、SNS など様々な情報発信ツール及び広告媒体を多角的に活用した情報発信による集中的なプロモーションを実施した。

① 「TAMASHIMA. tokyo」のウェブサイトの改修等

- A) 「TAMASHIMA. tokyo」のウェブサイト改修
- ・日本語及び英語サイトの改修を行い視認性や導線の改善を実施
- B) タイアップ記事及び YouTuber 連携動画・記事を制作
- ・国内外のメディアとのタイアップ記事等を新たに制作
 - ・国内外の YouTuber とのタイアップ動画を新たに制作
- ② 「TAMASHIMA. tokyo」の SNS の運用
- ・既存の Facebook・Instagram アカウントにて週 2 回程度投稿
 - ・月に 1 回リール動画、週に 1 回ストーリーを投稿
- ③ 映像の制作及び交通広告の実施
- ・多摩・島しょ地域の観光スポットの魅力をまとめた動画を 8 種制作
 - ・多摩・島しょ地域の観光スポットの魅力をまとめた動画を、都内主要路線の電車内や駅において配信（令和 6 年 10 月 17 日～6 月 23 日、10 月 14 日～10 月 27 日、令和 7 年 2 月 24 日～3 月 2 日）
- ④ フォトコンテストの実施
- ・東京カメラ部とタイアップしてフォトコンテストを実施（令和 6 年 10 月 4 日～12 月 13 日）
- (エ) 多摩地域への誘客促進キャンペーン（新規）＜東京都受託事業＞
- 魅力ある観光資源が豊富にある多摩地域の誘客のため、地元の観光協会や観光関連事業者等と連携し、誘客促進キャンペーンを実施し、更なる魅力の認知度向上を図った。
- ・日本観光ショーケース（大阪）令和 6 年 7 月 26 日～27 日（グランキューブ大阪）
 - ・にっぽんど真ん中祭り（名古屋）令和 6 年 8 月 23 日～25 日（オアシス 21）
 - ・GOOD LIFE フェア 2024（東京）令和 6 年 10 月 25 日～27 日（東京ビックサイト）
- (オ) 多摩・島しょ観光交通促進プロジェクト ＜東京都補助金事業＞
- 多摩・島しょ地域において移動アクセス手段の更なる充実を図るため、新たな交通サービスの導入など、自治体等が行う交通インフラ整備を支援した。

	申請団体	事業内容
1	神津島村	シェアサイクルの導入（神津島）
2	小笠原村	シェアサイクルの導入（母島）
3	一般社団法人大島観光協会	電動キックボードの導入（大島）

- (カ) 新たなツーリズム開発支援事業 ＜東京都出捐金事業＞
- 多摩・島しょ地域において、体験型・交流型の要素を取り入れた旅行者に訴求力のある新たな観光事業（富裕層向けを含む）の開発・実施に対して支援した。令和 6 年度は、令和 3 年度採択の 1 事業について、助成事業 3 年目として支援を行った。

採択年度	事業名	実施地域	事業者名
令和 3 年度	多摩のキャンプ場を活用したプライベートサウナサービスの開発	あきる野市	株式会社 do-mo

- (キ) キャッシュレスを活用した島しょ地域誘客促進事業 ＜東京都出捐金事業＞
- 島しょ地域においてプレミアム付き宿泊旅行商品券（しまぼ通貨）を販売することにより、島しょ地域の PR 及び旅行者の誘客を推進した。令和 6 年度は、販売予定数 8 万セットのうち、7 万セットを令和 6 年 4 月 30 日に発売開始し、8 月 5 日に完売し、残り 1 万セットについては令和 7 年 1 月 22 日に発売開始し、2 月 11 日に完売した。
- (ク) 島しょ地域を活用した縁結び観光プロジェクト ＜東京都補助金事業＞
- 島しょ地域の町村、観光協会等が実施する、縁結びに関連する観光資源開発や観光資源を活用したイベント・PR 事業等を支援するため、新たな取組を募集した。

申請なし

- (ケ) 観光型 MaaS 導入支援事業 ＜東京都出捐金事業＞
- 交通機関等に関する情報提供から予約、決済等までできる観光型 MaaS の多摩地域での導入等に向けた支援を実施した。令和 6 年度は、令和 5 年度採択の 1 事業について、引き続き支援を行った。

採択年度	実施地域	事業名
------	------	-----

令和5年度	立川市、八王子市、福生市	株式会社 JTB
-------	--------------	----------

(ウ) 日本文化を活用した観光振興支援事業 <東京都出捐金事業>

東京にある芸術・音楽・伝統芸能や伝統工芸、神社仏閣や歴史的な建造物等の日本文化を活用したイベントや情報発信等の観光振興の取組を支援することで、持続的な賑わい創出につなげた。

	協議会名	代表申請者	事業名
1	已年カウントダウンイベント文化観光推進協議会	一般財団法人しながわ観光協会	已年カウントダウンイベント事業
2	神楽坂芸者伝統芸能魅力発信事業協議会	一般社団法人東京神楽坂組合	神楽坂芸者伝統芸能魅力発信事業

(エ) 多摩・島しょ地域観光課題解決事業 <東京都出捐金事業>

多摩・島しょ地域の観光産業の活性化を図るため、観光産業の課題解決に向けた市町村・観光協会等の取組への支援や取組状況の周知を実施した。

	支援対象地域	テーマ
1	八王子市 (R5～R6)	持続可能な高尾観光まちづくり事業 ～高尾山ブランディング・来訪者平準化・誘致促進・情報発信機能強化～
2	小笠原村 (R6～R7)	OEM 朝食用冷凍惣菜パック開発による地域課題解決に向けた取り組み

(オ) サステナブル・ツーリズム推進事業 <東京都出捐金事業>

観光協会や観光関連事業者等が行うコンテンツ開発やプロモーションなど、多摩・島しょ地域における環境配慮型旅行に係る新たな取組を支援した。また、地域における持続可能な観光まちづくりに係る取組を支援することで、都内のサステナブル・ツーリズムの推進を図った。

① 環境配慮型旅行推進事業

環境配慮型旅行に係る新たな取組に対して費用を助成するとともに、アドバイザー支援及び広報支援を行った。

	申請団体	事業名
1	特定非営利活動法人フジの森	東京の新たな山村価値を創造するウェルネス・ツーリズム

② 地域のサステナブル・ツーリズム推進事業

経済・文化・環境等の観点から、持続可能な観光まちづくりを目的として実施する新たな取組を支援する「地域のサステナブル・ツーリズム推進助成金」の募集を行い、6事業の支援を決定した。

	申請団体	事業名
1	一般財団法人渋谷区観光協会	Sustainable Shibuya Project 推進
2	しのばず和めぐり協議会	しのばず和めぐりの会 サステナブル・ツーリズムを推進するための準備事業
3	一般社団法人東京北区観光協会	北区観光案内・魅力伝道師（仮称）の養成
4	むさしの・ガーデン紀行連絡協議会 イベント分科会	やきいもオリンピック（公園で焼き芋）
5	特定非営利活動法人神津島観光協会	閑散期の資源発掘と誘客 PR 事業
6	一般社団法人東京北区観光協会	酒都王子 近代日本酒の聖地化プロジェクト

(カ) 多摩・島しょアドベンチャーツーリズム推進事業 <東京都出捐金事業>

多摩・島しょ地域に豊富にある地域資源を活かした体験型コンテンツの開発・磨き上げを行うなどのアドベンチャーツーリズム推進に係る取組を支援し、自然・文化を深く体感できる目的地として旅行者の来訪・滞在を促し、旅行者による消費機会の拡大を図り、観光産業の回復を促した。

	申請団体	事業名
1	一般社団法人羽村市観光協会	羽村山口軽便鉄道廃線探検隊

(7) 多摩・島しょ安定集客促進事業（新規） ＜東京都出捐金事業＞

閑散期の誘客につながるコンテンツの開発やプロモーション等の新たな取組を支援し、年間を通じた安定的な旅行者の誘致を図り、多摩・島しょ地域の観光産業の持続的な発展を促した。

	申請団体	事業名
1	大島町商工会	伊豆大島イルミネーションイベント
2	八丈島酒造合名会社	八丈島観光活性化事業
3	東京諸島リビングサービス	黄八丈アートギャラリーおよび黄八丈体験施設設立事業
4	特定非営利活動法人神津島観光協会	映画ロケ地を活用した誘客促進事業
5	Spécialités（スペシャリテ）	記憶に残る体験を提供する、古民家ワーケーション施設整備事業

(3) 観光まちづくりの支援事業の実施（一部新規） ＜東京都出捐金・補助金事業＞

(ア) 地域における観光まちづくりの支援

観光関連団体等による地域主導の自主的な活動の充実を図り、東京全体の観光産業振興の底上げと観光を通じた地域の活性化につなげた。

① 観光活性化フォーラムの開催 ＜東京都補助金事業＞

地域の観光まちづくりの参考となる基調講演や事例発表等を行うとともに、地域の取組や観光素材等を紹介する展示交流会を実施した。

16 団体が出展し、参加者数は 341 名（会場参加・オンライン参加）となった。

② アドバイザー派遣事業 ＜東京都出捐金事業＞

・ アドバイザーによるチーム支援事業

地域の観光協会等が主体的に取り組む観光まちづくりが効果的に促進されるよう、要望に応じた複数の専門家を団体に派遣し、事業推進のための指導・助言等を行った。

各地域の課題にあわせ、9 件 7 団体へ計 8 名の専門家を派遣した。

	申請団体	派遣アドバイザー	
		氏名	所属団体
1	一般社団法人稲城市観光協会	本田 勝之助	本田屋本店有限会社
		小笠原 功	株式会社東京楽天地
2	清瀬商工会	井上 正幸	一般社団法人秩父地域おもてなし観光公社
3	一般社団法人こだいら観光まちづくり協会	小笠原 功	株式会社東京楽天地
4	八王子商工会議所	大城 琴音	株式会社 Beyond
		井上 朋子	東京観光経営コンサルティング事務所
5	一般社団法人東京北区観光協会	Stancov Alexander Dimitrov	地方色～Local Colors
6	清瀬市観光協会	朝倉 はるみ	淑徳大学 教授
7	特定非営利活動法人神津島観光協会	海津 ゆりえ	文教大学 教授

・ マーケティングを活用した事業計画策定支援

旅行者の多様なニーズや地域の魅力・強みを的確に把握するためのマーケティング調査・分析等とアドバイザーの派遣を行うことにより、効果的な旅行者誘致の展開に向けた事業計画等の策定支援を目的として、以下の 3 件の事業について支援を

実施した。

	申請団体	事業概要
1	一般社団法人東京北区観光協会	北区近代化遺産観光推進のためのマーケティング調査と事業計画策定事業（令和7年7月まで）
2	特定非営利活動法人神津島観光協会	神津島の持続可能な観光に向けた観光マーケティング調査及び事業計画の策定（令和7年11月まで）
3	清瀬市観光協会	シン・キョセ 観光Vision 策定プロジェクト（令和7年11月まで）

- ・ 地域連携プラットフォームの運営・拡充

観光協会等を対象としたポータルサイトを活性化させるための支援を行うとともに、宿泊統計データを連携するなどし、観光協会等の取組を共有するプラットフォームを構築した。同時に、東京都観光協会交流会の開催を通じて団体間の連携の強化を図った。

③ 学生インターン事業（一部新規） ＜東京都出捐金事業＞

関東圏の大学や専門学校の学生を観光協会等に派遣し、教育機関が有する人材や知見を観光事業運営に活用するとともに、将来の地域活性化の新たな担い手を育成した。

- ・ 個別派遣

教育機関が有する人材や知見を事業運営に活用するとともに、将来の地域活性化の新たな担い手を育成するため、関東圏の大学又は専門学校に所属する学生を観光協会等に派遣した。

	派遣先	学校名
1	一般社団法人墨田区観光協会	明治大学 立教大学
2	特定非営利活動法人神津島観光協会	立教大学
3	一般社団法人港区観光協会	JTB ツーリズムビジネスカレッジ
4	一般社団法人新宿観光振興協会	津田塾大学
5	一般社団法人昭島観光まちづくり協会	津田塾大学

- ・ ゼミ派遣

都内の観光協会等が抱える課題解決に向けて、新たな視点を取り入れた地域の取組を推進するとともに、地域への理解促進や将来の地域活性化の担い手を育成することを目的として、観光協会と都内の観光の観光関連分野の大学等が協働でワークショップ等を実施した。

	団体名	大学・ゼミ名	課題名
1	一般社団法人昭島観光まちづくり協会	東洋大学 国際観光学部 杉本ゼミ	昭島というまちの認知度・知名度アップ
2	一般社団法人昭島観光まちづくり協会	立教大学 法学部 薬師丸ゼミ	「あきしまの水×食」をいかしたブランディング構築
3	一般社団法人こだいら観光まちづくり協会	明治大学 政治経済学部 奥山ゼミ 杏林大学 外国語学部 観光交流文化学科 大熊ゼミ	オープンガーデン事業の活性化
4	一般社団法人こだいら観光まちづくり協会	立教大学 観光学部 羽生ゼミ	オープンガーデン事業の活性化
5	公益社団法人八王子観光コンベンション協会	文化学園大学 国際文化・観光学科 栗山ゼミ	日本遺産認定及び構成文化財の認知度向上
6	公益社団法人八王子観光コンベンション協会	駒沢女子大学 観光文化ゼミ（本間ゼミ）	新規来訪者（若年層）の獲得

7	一般社団法人式根島観光協会	東洋大学 国際観光学部 武ゼミ	温泉を利用した島の宣伝 PR
---	---------------	--------------------	-------------------

④ 観光人材育成支援事業 <東京都補助金事業>

地域の観光振興をリード・コーディネートしていくことができる人材を育成するため、地域の観光振興を担う観光協会等に対し、多面的に人材育成研修を実施した。

研修テーマ	開催日	参加者数	実施方法
「新任研修」	令和6年6月11日	23名	オンライン
「ガイド育成」	令和6年6月27日	12名	オンライン＋実地
「人材マネジメント」	令和6年8月5日	15名	オンライン＋実地
「両国街歩き」	令和6年10月16日	22名	実地
「PR広報」	令和6年11月22日	11名	オンライン＋実地
「箱根視察ツアー」	令和6年12月12日	14名	実地
「調査・データ分析」	令和7年1月17日	11名	オンライン＋実地

⑤ 観光まちづくり支援助成事業 <東京都出捐金事業>

地域の観光協会や観光関連団体等が取り組む観光産業の活性化や経営力強化を目的とした事業実施に係る費用の一部を助成した。

	申請団体	事業概要
1	一般社団法人中野区観光協会	多国籍中野盆踊り事業
2	一般社団法人練馬区産業振興公社	観光動態調査・消費動向調査（インバウンド調査含む）
3	一般社団法人青梅市観光協会	武蔵御嶽神社参道・御岳溪谷遊歩道周遊マップ作成事業
4	調布市観光協会	映画「花束みたいな恋をした」の市内ロケ地を中心とした謎解きラリー事業
5	一般社団法人武蔵野市観光機構	アニメを切り口とした外国人向け武蔵野市プロモーション事業
6	一般社団法人稲城市観光協会	稲城市の新たな特産品開発について
7	公益財団法人世田谷区産業振興公社	「SEATAGAYA!DAY 2024～もっと世田谷が好きになる～」の実施
8	一般社団法人三宅島観光協会	AI通訳機（ポケトーク）導入による観光協会の業務効率化
9	一般社団法人こだいら観光まちづくり協会	こだいら産クラフトビールで地域活性化を促進するプロジェクト
10	調布市観光協会	『悪魔くん』アニメ聖地巡礼マップ制作事業
11	公益財団法人世田谷区産業振興公社	訪日外国人観光客向け商店街散策マップ（豪徳寺・山下）の制作
12	一般社団法人武蔵野市観光機構	「ウエルカム台湾」新宿・渋谷都心一極集中からの脱却～台湾に向けた「吉祥寺」の魅力～発信PR事業
13	清瀬市観光協会	清瀬市観光協会 執務環境整備事業
14	清瀬市観光協会	清瀬市観光協会 ホームページ制作事業
15	一般財団法人足立区観光交流協会	千住宿開宿400年記念特設サイトの制作
16	一般社団法人こくぶんじ観光まちづくり協会	観光協会の事務所の設立の設備機器等を整備する事業
17	一般社団法人立川観光コンベンション協会	立川 NEW 土産品開発事業
18	一般社団法人昭島観光まちづくり協会	昭島市『水のまち』ブランドコンセプト策定とその情報発信
19	一般社団法人しながわ観光協会	巳年の飛躍を願う～屋形船寿司ランチクルー

		ズ～ 江戸の日本文化体験ツアー造成事業
--	--	---------------------

(イ) 水辺のにぎわい創出事業 <東京都出捐金事業>

観光関連団体や水辺活動団体、民間事業者等が行う、水辺空間に新たなにぎわいを創出する事業を支援した。

	申請団体	事業名
1	W・Y 株式会社	雷門 2 丁目かわてらすプロジェクト
2	一般社団法人竹芝エリアマネジメント	竹芝の水辺を活用したフォトスポット周遊&アニバーサリーフォトイベント
3	株式会社 G・T・B・T	隅田川を臨むジュエリー×カフェテラス「TOMOE -巴- 浅草本店」
4	東武鉄道株式会社	2025 年度 東京ミズマチ 5 周年企画 水辺のにぎわい創出事業

(ウ) 東京ライトアップ発信プロジェクト

① 建造物等のライトアップモデル助成 <東京都出捐金事業>

都内の建造物等を保有する民間事業者・区市町村等が行う、常設のライトアップ事業を支援した。

	申請団体	事業名
1	東日本旅客鉄道株式会社 千葉支社	総武線隅田川橋梁ライトアップ 電力設備新設
2	東武鉄道株式会社	東京スカイツリータウン ハナミ坂・ソラミ坂 階段グラフィカル・ライティングプロジェクト
3	京急開発株式会社	平和島周辺ライトアップ事業

② 春・秋のライトアップモデル助成 <東京都出捐金事業>

観光協会や商店街等が行う、春や秋の自然等を活用した一時的なライトアップの取組を支援した（春 4 件、秋 6 件）。

	申請団体	事業名
1	板橋区観光協会	石神井川の桜並木継承プロジェクト
2	一般社団法人 大崎エリアマネジメント	目黒川さくらのライトアップ 2025 ～五反田 YOZAKURA～
3	一般社団法人中野区観光協会	令和 6 年度 中野通り桜ライトアップ事業
4	一般社団法人上野観光連盟	上野公園桜ライトアップ
5	神楽坂通り商店会	神楽坂ケヤキライトアップ 2024
6	西新宿一丁目商店街振興組合	東京都道新宿副都心八号線 秋の紅葉ライトアップ
7	一般社団法人こだいら観光まち づくり協会	萩山公園ライトアップ ～きらめく紅葉につつまれて 2024～
8	一般財団法人公園財団	花畑記念庭園 秋のライトアップ
9	一般社団法人東京北区観光協会	秋の紅葉ライトアップ ～飛鳥山、新しい顔へ～
10	一般社団法人葛飾区観光協会	葛飾柴又・山本亭及び柴又公園 ライトアップ事業（3 年目）

③ ライトアップスポット等のマップ作成 <東京都補助金事業>

都内のライトアップ施設等を紹介するマップ及びウェブサイトを作成し、ライトアップの魅力を発信することにより、旅行者がライトアップ施設等を回遊しやすくすることで、旅行者誘致につなげた。

(エ) 東京プロジェクションマッピング促進支援事業 <東京都出捐金・補助金事業>

都内におけるプロジェクションマッピング活用の裾野を広げ、東京の新たなナイトライフ観光の盛り上げにつなげるため、民間事業者等によるプロジェクションマッピングの取組を支援した。

	申請団体	事業名
1	一般社団法人竹芝タウンデザイン	ウォーターズ竹芝 光と音で彩るプロジェクションマッピング『碧のキラメキ』
2	一般財団法人ドリーム夜さ来い グローバル振興財団	東京タワー-Dream プロジェクションマッピング featuring 第23回ドリーム夜さ来い祭り 後夜祭
3	株式会社一旗	天王洲地区の水辺空間を活用した天王洲チャンネルサイド プロジェクションマッピング
4	株式会社伊場仙	歴史を旅するプロジェクションマッピング Vol. 2

(オ) 観光まちづくりサポート事業 <東京都出捐金事業>

都内の観光協会が抱える地域の観光まちづくりに係る課題を解決するため、多様な職務経験等を有するプロボノ人材のノウハウを活用した支援を行った。

	団体名	プロジェクト内容
1	一般社団法人昭島観光まちづくり協会	・ブランディングの方針を見直し ・ロゴ、LPなどの改修
2	一般社団法人墨田区観光協会	・商品アイデアの検討、決定 ・テストマーケティング
3	一般社団法人練馬区業振興公社	・Instagramの投稿 ・効果測定と分析結果を踏まえた投稿案の検討
4	一般社団法人めぐろ観光まちづくり協会	・既存会員へのヒアリング、アンケートの実施 ・交流会などの施策検討 ・計画立案
都内観光協会が抱える観光まちづくりに係る課題を解決するため、多様な職務経験を有するプロボノ人材 11 名を 4 協会へ派遣した。		

(カ) ナイトタイム等における観光促進事業（新規） <東京都出捐金事業>

「ナイトタイム等(夜間・早朝)における観光促進助成金」により、観光関連団体等が行う、地域ならではの観光資源を活かした夜間・早朝イベント、PR 等の取組を支援することで、ナイトタイム等を活用した訪都外国人旅行者の誘致を促進するとともに、観光時間帯の分散化を図った。

	申請団体	事業名
1	東武鉄道株式会社	東京下町回遊 竹あかり
2	一般社団法人竹芝エリアマネジメント	(仮称)竹芝エリア起点での地域回遊を目的としたインバウンド・富裕層に向けた飲食クルーズ、観光客・地域関係者に向けた地域連携型ライトアップ、舟運による回遊
3	一般社団法人墨田区観光協会	～粋な街「向島花街」～江戸文化体験ナイトツアー造成事業
4	一般社団法人浅草六区エリアマネジメント協会	大衆芸能の聖地・浅草-NIGHT SHOW-
5	株式会社エル・ディー・アンド・ケイ	代々木公園観光促進プロジェクト
6	一般社団法人東銀座エリアマネジメント	和と光の Winter Festa
7	一般社団法人千代田中央文化交流推進機構	神田明神 光彩絵巻～光が彩る日本文化～
8	三菱地所プロパティマネジメント	DEEP MARUNOUCHI～Midnight Summer Vacation

	ト株式会社	～
9	一般財団法人渋谷区観光協会	渋谷のナイトベニユーを案内する夜間観光案内所運営と音声 AR 回遊システムの開発事業
10	松竹株式会社	ZIPANG 光が彩る演舞祭（仮称）（街広域とライブ会場を繋ぎ、伝統芸能（石見神楽）と LED 技術を体感する最先端の参加型スペクタクルショー）
11	株式会社アーストーン	SYNCHRONICITY' 25 MIDNIGHT

(4) 東京フィルムコミッション事業 <東京都受託事業・出捐金事業>

(ア) 東京ロケーションボックスの運営 <東京都受託事業>

都内における映画、ドラマ等の撮影に係る各種の相談窓口として「東京ロケーションボックス」を運営した。制作会社等に対し、ロケ地情報や撮影許可に関する施設との調整、警察・消防への許可申請手続の指導・助言等の支援を実施し、年間の問合せ件数は 4,037 件で、うち支援件数は 1,553 件であった。

カテゴリー	映画		テレビ番組				WEB 映画 ドラマ	その他	スチール	ミュージック ビデオ	ジャンル	撮影以外	合計
	劇場映画	その他映画	TVドラマ	その他	TV番組	CM							
問合せ件数	463 (68)	54 (3)	598 (25)		234 (13)	166		608 (175)	54 (1)	70 (3)	125 (5)	1,665 (3)	4,037 (296)
支援件数	423 (60)	16	486 (21)		59 (4)	38		486 (166)	8	20	17	0	1,553 (251)
許可 件数	都立	18 (13)	1	16		9	4	18 (6)	2	1	1	0	70 (19)
	その他	31 (5)	0	71 (1)		3	5	50 (17)	2	1	0	0	163 (23)
	計	49 (18)	1	87 (1)		12	9	68 (23)	4	2	1	0	233 (42)

(イ) PR 事業

① 海外映画祭見本市等への現地出展

海外映像作品の誘致を目的として以下の見本市等に出展を行った。

- ・ カンヌ国際映画祭併設国際見本市 2024（令和 6 年 5 月 14 日～5 月 22 日）
- ・ TIFFCOM/Japan Contents Showcase 2024（令和 6 年 10 月 30 日～11 月 1 日）
- ・ American Film Market 2024（令和 6 年 11 月 5 日～11 月 10 日）
- ・ ベルリン国際映画祭併設マーケット 2025（令和 7 年 2 月 13 日～2 月 19 日）
- ・ 香港フィルムアート 2025（令和 7 年 3 月 17 日～3 月 20 日）

② 支援作品を活用した国内向け PR の実績

支援作品を通じた都内の魅力を国内向けに PR するため以下の事業を実施した。

- ・ 東京ロケーションボックス＋ムービーウォーカーPRESS タイアップ企画
フィルムコミッション活動と支援作品 PR
掲載期間：令和 6 年 4 月 22 日～6 月 17 日 支援作品 2 作品特集コラム
令和 6 年 10 月 31 日～11 月 16 日 支援作品 1 作品特集コラム
掲載場所：ムービーウォーカーPRESS（ウェブサイト）での情報配信
- ・ イベント出展「第 19 回国内活性化フォーラム in 東京」

支援作品及び都内ロケツアーリズムの PR

実施期間：令和 7 年 1 月 28 日

開催場所：東京ガーデンシアター

- ・ イベント出展「トラベルランド（名古屋）」

支援作品及び都内ロケツアーリズムの PR

実施期間：令和 7 年 3 月 15 日～3 月 16 日

掲載場所：エディオン久屋広場

- ・ イベント開催「フィルムコミッション特別展!!featuring『片思い世界』」

支援作品映画『片思い世界』及び都内・関東圏のロケツアーリズム PR

実施期間：令和 7 年 3 月 29 日～3 月 30 日

掲載場所：渋谷ストリーム金王橋広場

(ウ) 海外作品制作支援事業 <東京都出捐金事業>

都内を舞台とした映画及びドラマ等の海外公開作品のロケハン及び撮影支援の計 6 事業の支援を決定した。

- ・ ロケハン支援

	申請団体	作品名
1	株式会社ロボット	SINSIN AND THE MOUSE（日本・台湾共同製作）
2	株式会社フラッグ	KONBINI ZOMBIES（日本・イギリス共同製作）
3	TOHO Tombo ピクチャーズ株式会社	Cold Enough For Snow（日本・イギリス共同製作）
4	株式会社日テレ アックスオン	Blood & Sweat（日本・フィンランド共同製作）

- ・ 撮影支援

	申請団体	作品名
1	株式会社ロボット	SINSIN AND THE MOUSE（日本・台湾共同製作）
2	株式会社日テレ アックスオン	Blood & Sweat（日本・フィンランド共同製作）

(5) 東京シティガイド検定の実施

国内・海外からの訪都旅行者に対して東京の魅力を紹介できる人材の育成を目的として、東京の歴史・文化から最新トレンドまで総合的に学べる「東京シティガイド検定」を、全国のテストセンターにてオンラインで受験する「CBT 試験」にて実施した。

- ・ 第 22 回東京シティガイド検定試験

実施期間：令和 7 年 1 月 17 日～2 月 20 日

会 場：全国の提携テストセンター（約 340 箇所）

受験者数：782 名（実受験者数 716 名）

合格者数：446 名

- ・ 試験対策セミナー

実施期間：令和 6 年 12 月 2 日～令和 7 年 1 月 16 日

実施方法：事前録画したセミナーをオンデマンドにて配信

受講者数：76 名

- ・ 検定委員会

第 1 回 令和 6 年 5 月 10 日（書面開催）

第 2 回 令和 6 年 9 月 25 日

第 3 回 令和 7 年 3 月 25 日

(6) 被災地応援ツアーの実施 <東京都出捐金事業>

東日本大震災等により大きな被害を受けた福島県の観光振興と地域経済の復興を支援するため、旅行事業者等と連携して「福島被災地応援ツアー」を実施した。また、震災により大幅に減少した福島県の教育旅行増加に向け、福島県が実施する事業と連携し、都内の学校が実施する福島県への教育旅行に対し、バス料金に対する経費の一部補助を実施した。

(7) 宿泊・日帰り旅行支援

事業概要：旅行会社で購入する東京都から福島県への宿泊旅行と日帰り旅行に対し、
宿泊旅行 1 泊 3,000 円、日帰り旅行 1 人 1,500 円の割引を行った
実施期間：令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日
実績：宿泊旅行 4,641 泊、日帰り旅行 620 回
旅行会社数：108 社

(イ) 福島県教育旅行復興支援

事業概要：都内の学校が実施する福島県への宿泊を伴う教育旅行に対し、上限 7 万円
の範囲内でバスに要する経費の 1/2 を支援した
実施期間：令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日
実績：58 回

4 観光産業の支援に関する事業

(1) 東京観光産業ワンストップ支援センターの運営 <東京都出捐金事業>

(ア) 総合相談窓口の運営

観光関連事業者の経営課題等に対して、相談から解決に向けた取組への支援にワンストップで対応する総合相談窓口を運営した。窓口で専門相談員として新たに「コーディネーター」を設置し、個々の事業者の状況やニーズに合わせ、各種支援策の紹介や専門家の派遣を実施することで、観光関連事業者の経営力向上を支援した。また、人手不足の解消に向けた対策として実施された、都主催の『観光関連産業就職フェア』において、センター運営等を通じて構築した観光関連事業者とのネットワークを活用して参加企業募集に協力し、参加促進を図った。

- ・ センター相談受付件数：1,175 件
- ・ 専門家派遣件数：132 社（延べ回数 433 回）

(イ) 東京観光産業ワンストップ支援センターウェブサイトの運営

観光関連事業者向けの支援策を一元的に紹介するウェブサイト運営し、新たな支援策や補助事業の活用事例など、様々な情報を分かりやすく発信した。

(ロ) 観光経営力強化セミナー等の実施

観光関連事業者に対し、先進的な取組や生産性の向上、新技術活用等の紹介を行う経営セミナーや、異業種間連携を促進する事業者交流会を開催した。関連団体等と連携し、オーダーメイドでの事業説明会や出張相談会を実施した。

- ・ 経営セミナー実施回数：4 回
- ・ 事業者交流会実施回数：4 回
- ・ 事業説明会等の実施回数：33 回

(2) 観光産業の活性化（一部新規） <東京都出捐金事業>

(ア) 宿泊施設経営力向上推進事業（新規）

- ・ 事業概要：都内宿泊施設が、専門家からの助言を受けて、経営改善計画を策定し実施する、経営力向上のための施設改修等に係る取組に対して経費の補助を行った
- ・ 補助額：補助対象経費の 3 分の 2 以内（中小企業の場合は 4 分の 3 以内）
- ・ 補助限度額：500 万

(イ) 観光経営力強化事業（生産性向上・新サービス商品開発・体験型コンテンツ支援）

- ・ 事業概要：観光関連事業者が経営力強化に向けて行う生産性向上や新たなサービス・新商品、体験型コンテンツの開発に係る取組に対して経費の補助を行った
- ・ 補助額：補助対象経費の 3 分の 2 以内
- ・ 補助限度額：1,500 万円（新サービス・商品開発・体験型コンテンツ支援は 500 万円）

(ロ) アドバイザーを活用した観光事業者支援事業

- ・ 事業概要：観光事業者が専門家からアドバイスを受けて行う経営の改善や新しい事業展開に向けた取組に対して経費の補助を行った
- ・ 補助額：補助対象経費の 3 分の 2 以内

- ・ 補助限度額：200 万円
- (エ) 観光資源の保全等のための支援事業
 - ・ 事業概要：観光資源として東京の魅力発信に資する建物や技能・技術を有する観光関連事業者が行う観光資源の維持・保全の取組に対して経費の補助を行った
 - ・ 補 助 額：補助対象経費の 3 分の 2 以内（東京都が指定した重点エリア内において、協議会等が策定した重点エリア計画書に沿って取組を実施する場合は 4 分の 3 以内）
 - ・ 補助限度額：1,000 万円（東京都が指定した重点エリア内において、協議会等が策定した重点エリア計画書に沿って取組を実施する場合は 1,500 万円）
- (オ) 観光事業者のデジタル化促進事業
 - ・ 事業概要：観光事業者が生産性の向上や商品の付加価値化を図るために行う ICT 化や DX の取組に対して経費の補助を行った
 - ・ 補 助 額：補助対象経費の 3 分の 2 以内
 - ・ 補助限度額：3,000 万円
- (カ) 観光関連事業者デジタル化レベルアップ支援事業（新規）
 - ・ 事業概要：観光事業者が生産性を向上させ、観光需要への対応を促進するために行う比較的高度なデジタル技術による業務効率化やサービス向上の取組に対してアドバイザーの派遣と経費の補助を行った
 - ・ 補 助 額：補助対象経費の 3 分の 2 以内
 - ・ 補助限度額：1,000 万円
- (キ) 旅行事業者デジタルツール導入支援事業（新規）
 - ・ 事業概要：旅行事業者が人手不足解消や業務効率化等の早期解決に向けて行うデジタルツール導入など短期的なデジタル化の取組に対して経費の補助を行った
 - ・ 補 助 額：補助対象経費の 3 分の 2 以内
 - ・ 補助限度額：100 万円
- (ク) 宿泊施設デジタルシフト応援事業
 - ・ 事業概要：宿泊事業者が人手不足解消や業務効率化等の早期解決に向けて行うデジタルツール導入など短期的なデジタル化の取組に対して経費の補助を行った
 - ・ 補 助 額：補助対象経費の 3 分の 2 以内
 - ・ 補助限度額：150 万円
- (ケ) 観光産業の魅力向上応援事業（新規）
 - ・ 観光の仕事のやりがいや魅力を伝えるイベントの開催や職場見学会等を実施して、観光産業の魅力を発信し、就業意欲を喚起することにより、事業者の人材確保を支援した。
 - ・ 観光産業の魅力発信イベント実施回数：1 回
 - ・ 職場見学及び就業体験：職場見学 3 施設、就業体験 6 施設
- (コ) 観光事業者による環境対策促進事業
 - ・ 事業概要：観光事業者が自ら策定した環境対策に関する計画等を実施するために必要な設備導入・更新等の取組に対して経費の補助を行った
 - ・ 補 助 額：補助対象経費の 2 分の 1 以内（中小企業の場合は 3 分の 2 以内）
 - ・ 補助限度額：1,500 万円

(3) 受入環境インフラの整備（一部新規） ＜東京都出捐金事業＞

- (ア) デジタルサイネージを活用した観光情報ネットワーク事業
 - ・ 事業概要：外国人旅行者の利便性向上を目的に、まちなかで観光情報などを多言語で提供する高機能型観光案内標識（デジタルサイネージ）40 基の運用管理を行った
 - ・ 提供情報：観光スポット、宿泊施設、飲食店、ATM など（各施設までの道順を表示）、Lアラート（災害時情報発信システム）と連携した災害情報等
 - ・ 対応言語：日本語、英語、中国語（繁体字、簡体字）、韓国語
- (イ) 観光インフラ整備支援事業

① 区市町村観光インフラ整備支援

- ・ 事業概要：観光案内標識の整備・更新、多言語対応の改善・強化や情報通信技術の活用など、区市町村が計画的に行う外国人旅行者向けの受入環境の整備に関する取組に対して経費の補助を行った
- ・ 補 助 額：補助対象経費の2分の1以内
ただし、安全・安心の確保、地域・住民に寄り添った観光地域経営の推進（混雑緩和やマナー啓発等）は最大4分の3以内
- ・ 補助限度額：1億円（1区市町村当たり、令和2年度から令和6年度までの合計）

② 観光施設の国際化支援

- ・ 事業概要：多言語対応の改善・強化や情報通信技術の活用など、都内民間観光施設が行う外国人旅行者向けの受入環境整備に関する取組に対して経費の補助を行った
- ・ 補 助 額：補助対象経費の2分の1以内
- ・ 補助限度額：1,000万円（1施設当たり、令和2年度から令和6年度までの合計）

(ウ) 観光バス等バリアフリー化支援事業

- ・ 事業概要：高齢者や障害者等も含めた誰もが安心して都内観光を楽しめるよう、主要な交通インフラである観光バスについて、乗降用リフト付車両の導入に対して支援した
- ・ 補 助 額：補助対象経費について、大型車 800 万円、中型車 500 万円、小型車 300 万円以内（1台あたり）

(エ) 宿泊施設のバリアフリー化支援事業

- ・ 事業概要：旅行者が安全かつ安心して利用できるよう、都内民間宿泊施設が実施するバリアフリー化に関する取組に対して経費の補助を行った
- ・ 補 助 額：補助対象経費の最大10分の9以内
- ・ 補助限度額：バリアフリー化整備にかかる各事業の補助限度額（カッコ内は一定要件を満たす場合）

補助対象経費	延床面積 1,000 m ² 未満の施設	延床面積 1,000 m ² 以上の施設
(1) コンサルティング	100 万円	100 万円
(2) 施設整備	3,000 万円(6,000 万円)	2,500 万円(5,000 万円)
(3) 客室整備	4,800 万円(9,600 万円)	4,200 万円(8,400 万円)
(4) 備品購入	320 万円	270 万円
(5) 実施設計	100 万円	90 万円

(オ) タクシー事業者向け多言語対応端末導入補助事業

- ・ 事業概要：タクシーを利用する外国人旅行者の利便性の向上を図るため、タクシー事業者が行う多言語対応等に活用できるタブレット端末等の導入に対して経費の補助を行った
- ・ 補 助 額：補助対象経費の2分の1以内（個人事業主の場合は10分の9以内）
- ・ 補助限度額：補助対象車両の数に5万円を乗じた額（個人事業主の場合は9万円）

(カ) インバウンド対応力強化事業

- ・ 事業概要：宿泊・飲食・小売事業者等が行う多言語対応や公衆無線 LAN 設置など外国人旅行者の受入環境整備に係る取組に対して経費の補助を行った
- ・ 補 助 額：補助対象経費の2分の1以内
- ・ 補助限度額：300万円（1施設・店舗当たり）

(キ) 飲食事業者向けベジタリアン・ヴィーガン認証取得支援事業

- ・ 事業概要：外国人旅行者の安心感・満足感の向上や飲食店の新規顧客獲得に向けて、飲食事業者が行うベジタリアン・ヴィーガンに関する認証取得に対して支援を行った
- ・ 補 助 額：補助対象経費の2分の1以内
- ・ 補助限度額：20万円（1店舗当たり）

(ク) 観光事業者による旅行者受入対応力強化支援事業

- ・ 事業概要：観光産業における人手不足への対応を図るため、観光事業者が行う人材の確保・定着・育成に係る取組に対して経費の補助を行った
- ・ 補助額：補助対象経費の3分の2以内
- ・ 補助限度額：300万円（1補助事業者当たり）

5 観光情報の発信に関する事業

(1) ウェブサイトによる情報発信 <東京都補助金事業>

東京の観光公式サイト「GO TOKYO」において、旅行者が目的の観光情報をよりスムーズに入手できるようデザインを一新して機能を強化するリニューアルを行い、東京の総合的な観光情報を9言語・10種類（日本語、英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、フランス語およびタイ語）で継続的に発信した。さらに、観光施設や公演等のチケットをスムーズに購入できる専用ページを開設した。また、バナー広告を掲載し、広告収入を確保した。

言語	アクセス数*（令和6年4月～令和7年3月）
日本語	8,614,590
英語	11,515,726
中国語（簡体字）	921,274
中国語（繁体字）	4,651,239
韓国語	2,795,836
ドイツ語	352,581
イタリア語	299,209
スペイン語	564,972
フランス語	637,246
タイ語	1,028,583
合計	31,381,256

*アクセス数はページビューでカウント

また、SNS（Facebook、Weibo等）において、東京都内各地の観光情報を発信した。

媒体	言語	読者数*（令和7年3月末）
Facebook	日本語	7,598
	英語	625,281
	中国語（繁体字）	263,326
	韓国語	21,256
	ドイツ語	7,675
	イタリア語	26,404
	スペイン語	38,461
	フランス語	23,841
	タイ語	110,693
Weibo	中国語（簡体字）	169,881
WeChat	中国語（簡体字）	28,407
NAVER	韓国語 ※年間閲覧数	182,739

*読者数はアカウントのフォロワーの数

(2) 東京ブランドの推進事業 <東京都出捐金事業>

(ア) 東京ブランドの発信

旅行地としての東京を強く印象付ける「東京ブランド」の確立に向けた取組の一環として、主に国内の多様な主体が東京ブランド「ロゴ」を活用していくための申請受付、承認、管理等を包括的に行う管理事務局を運営した。また、東京ブランド「ロゴ」公式サイト維持・運営を行った。

(イ) 東京の魅力発信プロジェクト

東京ブランドの普及・浸透を図るため、民間事業者等から連携事業の提案を受け、東京ブランドアイコンの普及・浸透に特に効果的な7提案に対し、都と提案者が共同で費用を支出し、連携して事業を実施した。

	申請団体	プロジェクト名称
1	株式会社朝日新聞社	EDO⇄TOKYO SUSHI JOURNEY～寿司、鮎、SUSHI!～
2	株式会社朝日新聞出版	みんな楽しい!東京の横丁
3	東武鉄道株式会社	～イースト東京で過ごす夜間コンテンツの情報発信～
4	東京建物株式会社	Tokyo Tokyo × 東京建物 YNKs プロデュース You Never Know「TOKYO」プロジェクト
5	株式会社タカトミー	Tokyo Xtreme KOMA Project
6	株式会社交通新聞社	新たな一歩と伝統が織りなす東京の音色
7	株式会社講談社ビーシー	雑誌『おとなの週末』MOOK「ぶらっと東京日和」～自分だけの東京を見つける小さな旅～を活用した東京の魅力発信プロジェクト

(ウ) インナーブランディングの強化

都民や民間事業者等と東京ブランド「アイコン」のコンセプトを共有し、東京ブランドの一層の浸透を図るため、インナーブランディングの強化に向けた、都民参加型のキャンペーンを都内3地域（多摩地域・島しょ地域・区部）で実施した。

- ・ キャンペーン名「あしたの東京プロジェクト」

キャンペーン参加者：701名（応募者：10,779名）

多摩地域：多摩フォレストツーリズム 令和6年10月5日

島しょ地域：神津島サステナブル・ツーリズム 令和6年11月23・24日

区部：東京ランタンセレモニー 令和7年2月15日

併せて、海外向けに東京の魅力発信を行うことに意欲のある若者を観光インフルエンサーとして募集し、その取り組みを支援することで、次世代の観光を担う若年層の地域への理解を促進し、愛着を深めてもらった。

(3) ウェルカムカードの作成 <東京都補助金事業>

国内外の旅行者に東京の観光情報を提供するウェルカムカードとして、東京トラベルガイドを9言語・10種類（日本語、英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語、タイ語、独語、仏語、西語、伊語）で作成し、東京観光情報センターをはじめ、東京観光案内窓口、宿泊施設等で提供した。

(4) ムスリム及びベジタリアン旅行者向けパンフレットの作成 <東京都補助金事業>

(ア) ムスリム旅行者向けパンフレットの作成

ムスリム旅行者の受入に取り組んでいる飲食店やホテル、礼拝所を紹介したムスリム旅行者向けのパンフレット（TOKYO MUSLIM Travelers' Guide）を作成し、東京観光情報センター、東京観光案内窓口、宿泊施設等で配布した（日本語及び英語。ただし、日本語版はデジタルパンフレットギャラリー上での公開のみ）。

(イ) ベジタリアン旅行者向けパンフレットの作成

ベジタリアン旅行者等の受入に取り組んでいる飲食店を紹介したパンフレット（TOKYO Vegan & Vegetarian Restaurant Guide）を作成し、東京観光情報センター、東京観光案内窓口、宿泊施設等で配布した（日本語及び英語。ただし、日本語版はデジタルパンフレットギャラリー上での公開のみ）。

(5) 観光ボランティアの管理運営（一部新規） <東京都受託事業>

観光ボランティアの募集・登録を行い、街なかでの観光案内やガイドツアー等ボランティアが活躍できる環境を整えるとともに、研修等を通じてボランティアの資質の向上を図った。

(フ) 東京都観光ボランティアの管理運営・活動支援

① 都庁案内ガイドサービス・展望室ガイドサービス

都庁舎や展望室を訪れる外国人旅行者に対し、都庁舎内や展望室を外国語で案内した。

② 観光ガイドサービス

外国人旅行者を対象にした都内 15 ルートのガイドツアーに加え、外国人旅行者に人気の高い夜間の観光名所等を巡るツアーとして、浅草ナイトツアーを新たに追加した。

③ 街なか観光案内

外国人旅行者が多く訪れる 10 地域において、国内外からの旅行者に観光案内等を実施した。

④ 観光ボランティアの派遣

区市町村及び公的団体並びに国際会議の主催者等の要請に応じ、会場案内や事務局補助活動等を行う観光ボランティアを派遣した。

＜令和 6 年度各種ボランティア活動実施結果＞

- ・ 観光ボランティア登録者数：3602 名（休止者等 417 名含む）
うち、新規採用観光ボランティア登録数：328 名
- ・ 都庁案内ガイドサービス実施件数：821 件
- ・ 展望室ガイドサービス実施件数：20,552 件
- ・ 街なか観光案内対応件数：168,079 件
- ・ 観光ガイドサービス実施件数：986 件
- ・ 観光ボランティア派遣：39 回（派遣者数：延べ 411 名）

(イ) 東京都観光ボランティアの管理

① 観光ボランティア向け研修の実施

観光ボランティアとしての資質向上を図るため、e ラーニングシステムも効果的に活用しながら幅広いテーマの研修を実施した。

② ボランティアポータルサイトの運用

ポータルサイトを運営し、活動の連絡や記録を行うとともに、観光情報やマニュアル等を観光ボランティアに公開した。

③ 大学生向け観光ボランティア参加促進プログラムの実施

観光ボランティアへの参加を促すため、大学生を対象に東京の魅力を学び、観光ボランティアとの交流を通じ、外国人旅行者へのおもてなしを考えるプログラムを実施した（参加者 99 名、応募者 198 名）。

(ウ) おもてなし親善大使の育成

① おもてなし親善大使育成塾の開催

都内在住・在学の中高生を対象に、おもてなしの心を具体的行動で表すためのスキルや知識を身につけることを目的とした「おもてなし親善大使育成塾」を開催した。
おもてなし親善大使育成塾 参加者 210 名 任命者 198 名（累計 1,686 名）

② おもてなし親善大使の活動

これまでに任命したおもてなし親善大使を対象に、外国人旅行者への観光案内などボランティア活動体験等に資する活動を行った。

③ おもてなし親善大使の研修

これまでに任命したおもてなし親善大使を対象に、観光案内の知識や語学等のスキルアップを図る研修や、都市に対する誇りや愛着の醸成につながる研修を実施した。

(6) 多言語メニュー作成支援ウェブサイト（EAT 東京）の運営 ＜東京都受託事業＞

都内飲食店等における外国人旅行客の受入環境整備を図るため、多言語メニュー作成支援ウェブサイト「EAT 東京」を運営した。ヴィーガンなど食の多様性に対応したメニュー紹介ページを作成した。

- ・ サイト登録店舗数 9,017 店舗（令和 7 年 3 月末時点）
- ・ 都内飲食店等対象の「EAT 東京」普及啓発セミナー開催実績 2 回 参加者 32 名

(7) 東京観光デジタルパンフレットギャラリーの管理運営

東京の様々な観光パンフレットを、国内外の旅行者が閲覧できるウェブサイト「東京観光デジタルパンフレットギャラリー」を5言語・6種類（日本語、英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語、タイ語）で管理運営した。掲載パンフレットやサイトコンテンツを充実させるとともに、ウェブサイトの魅力や操作性の向上を図った。

(8) 東京観光情報センター等の管理運営（一部新規） <東京都受託事業>

(ア) 東京観光情報センターの運営

国内外からの旅行者等の多様なニーズに的確に対応できるよう、都内5箇所（東京都庁、羽田空港、京成上野、バスタ新宿、多摩）で東京観光情報センターを運営した。

- ・ 来場者数：合計 1,444,967 人（うち、外国人 945,014 人/65.4%）
- ・ 問合せ件数：合計 425,026 件（うち、外国人 338,800 件/79.7%）

① アクセシブルツーリズム

障害者や高齢者等とのコミュニケーションサポートツールを東京観光情報センター全箇所に配備。バスタ新宿ではアクセシブルツーリズム専用カウンターを設置し、車いすとベビーカー貸出を通年実施するなど、「心のバリアフリー」認定施設として、より多くの旅行者が東京観光を楽しめる環境の整備を継続して実施した。

② オンライン観光案内（一部新規）

アバターを活用したビデオ通話によるオンライン観光案内を継続し、旅マエから旅ナカまで、国内外から手軽に旅の相談ができる機会を提供した。また生成AIを活用した、観光案内AIチャットボット（β版）のサービス利用も開始した。

- ・ オンライン通話利用実績

受信件数：合計 291 件（うち、外国人 224 件/76.9%）

- ・ 観光案内AIチャットボット（β版）利用実績

問合せ件数：1,237 件（うち、外国人 501 件/40.0%）

③ 日報データベース

日報データベースに蓄積された情報を活用し、東京観光情報センターの利用状況を把握しながら適切な管理運営を行った。

④ 調査及び研修

東京観光情報センターの接遇力強化や知識向上を図るため、国内外の旅行者に対して満足度調査及び覆面調査を実施すると共に、調査結果を踏まえた研修を企画し実施した。

- | | |
|----------------------|--------------|
| ・ 接遇力強化研修 | 3 回/参加者 30 名 |
| ・ インバウンド研修 | 3 回/参加者 30 名 |
| ・ アクセシブルツーリズム研修（基礎編） | 1 回/参加者 10 名 |
| ・ アクセシブルツーリズム研修（手話） | 1 回/参加者 10 名 |
| ・ アクセシブルツーリズム研修（応用編） | 1 回/参加者 12 名 |
| ・ プロフェッショナル研修 | 1 回/参加者 7 名 |

⑤ 広報活動

東京観光情報センター等の認知度向上や利用者促進に向けた広告展開等のほか、多摩地域で各種イベントを実施した。

<オンラインツアーの実施>

- ・ 1 回目「まだ間に合う！夏休みの自由研究多摩エリアで生まれるアレ！の裏側をのぞいてみよう♪」

実施日：令和6年8月25日/参加者：40名

- ・ 2 回目「多摩エリアの森や木々とのふれあい旅～森に抱かれて木々に学び癒やされる休日～」

実施日：令和6年11月30日/参加者：38名

<センター多摩でワークショップ開催>

- ・ 1 回目「多摩産材のうちわに型染め体験」

実施日：令和6年8月4日/参加者：30名

- ・ 2 回目「自然をモチーフにした絵手紙体験！」

実施日：令和 6 年 10 月 19 日/参加者：30 名

(イ) 全国観光 PR コーナーの運営

国内外からの旅行者等の多様なニーズに的確に対応できるよう、東京都と全国の各自治体が連携して全国の観光情報等を発信する全国観光 PR コーナーを運営し、各地域の観光パンフレットの配布や各自治体の実施する PR イベントの支援を行った。

- ・ 場 所：東京都庁（都庁第一本庁舎 1 階）
- ・ 来 場 者 数：合計 192,747 人（うち、外国人 48,187 人/25.0%）
- ・ 問合せ件数：合計 8,398 件（うち、外国人 5,866 件/69.8%）
- ・ イベントコーナー利用件数：48 件

(ウ) イベント等における臨時観光案内所の管理運営

国内外からのイベント参加者に対して都内の観光情報を PR するため、以下のイベント等に臨時観光案内所を設置した。

- ・ Tokyo Tokyo Delicious Museum 2024（シンボルプロムナード公園）
令和 6 年 5 月 17 日～5 月 19 日
延べ来場者数：634 人
- ・ うえの夏まつり 2024（上野恩賜公園不忍池畔）
令和 6 年 7 月 20 日～7 月 21 日
延べ来場者数：469 人
- ・ 台湾フェスタ 2024（代々木公園）
令和 6 年 7 月 27 日～7 月 28 日
延べ来場者数：575 人
- ・ 東京味わいフェスタ 2024（丸の内エリア 行幸通り）
令和 6 年 10 月 25 日～10 月 27 日
延べ来場者数：1,176 人
- ・ 第 10 回都立動物公園アフリカフェア（多摩動物公園）
令和 6 年 11 月 9 日～11 月 10 日
延べ来場者数：604 人
- ・ 第 19 回国内観光活性化フォーラム in 東京（東京ガーデンシアター）
令和 7 年 1 月 28 日
延べ来場者数：619 人
- ・ 東京マラソン EXP02025（東京ビッグサイト）
令和 7 年 2 月 27 日～3 月 1 日
延べ来場者数：3,446 名
- ・ ランナー応援イベント（皇居外苑広場）
令和 7 年 3 月 2 日
延べ来場者数：539 名

(エ) 東京観光情報センターバスターミナル東京八重洲（仮称）の整備（新規）

高速バスターミナルの整備等、機能が拡充される東京駅八重洲口周辺に新たな東京観光情報センターの基本設計を行った。

(9) 広域的な観光案内拠点等の整備及び運営支援 <東京都受託・出捐金事業>

(ア) 広域的な観光案内拠点等の整備支援 <東京都出捐金事業>

都内における観光案内機能の向上を図るため、東京都が指定した東京観光案内窓口に対して整備などに関する補助を実施した。

- ・ 観光案内窓口整備支援補助金
- ・ 補助額補助対象経費の 3 分の 2 以内（区市町村は 2 分の 1 以内）
- ・ 補助限度額 3,000 千円（区市町村は 2,250 千円）

(イ) 広域的な観光案内拠点等の運営支援 <東京都受託事業>

都が指定した広域的な観光案内拠点（10 箇所）及び東京観光案内窓口（488 箇所）に対して、国内外の旅行者に対し都内の観光情報を円滑に提供できるよう、ロゴマークの

提供や希望する窓口へのモニター付きコールセンター通訳サービスタブレット端末の貸与、及び屋内型観光案内デジタルサイネージの設置等の支援を行った。

① 調査及び研修

都内の観光案内機能の拡充を図るため、広域的な観光案内拠点等を対象とした満足度アンケートや覆面調査を実施した。また、窓口のサービスの質の向上やネットワーク構築を目的とした研修会や連絡会を開催した。

② 広域的な観光案内拠点等の情報発信力強化（専門家派遣）

希望する広域的な観光案内拠点等に専門家を派遣し、ウェブサイトや SNS 等を活用した情報発信にかかる助言を行った。

- ・ 派遣回数 34 回/8 窓口

③ 広報活動

広域的な観光案内拠点等の認知度向上や利用促進に向け WEB サイトの運営や広告を実施した。また、東京観光案内窓口の募集に際して、応募者数を獲得するための広報活動等を行った。

6 広報・調査研究に関する事業

(1) 財団コーポレートサイトでの情報発信

財団の活動や東京の観光・コンベンション情報などを、賛助会員をはじめ、関係機関・団体、国内メディア等に広く PR するために、財団コーポレートサイトを活用して情報発信を行う。

(2) 共同研究・アドバイザリー会議の実施

(ア) 民間事業者等と東京の観光に関する課題について、調査・研究を実施

① 「アクセシブルな観光都市東京を目指して～先進事例と国内外の取組から～」

共同研究者：公益財団法人日本交通公社

久保田美穂子氏（亜細亜大学 経営学部ホスピタリティ・マネジメント学科
准教授）

- ・ 高齢者や障害者など、移動やコミュニケーションに困難を抱える方のニーズに応え、誰もが旅を楽しめる東京の実現に向け、観光事業者や地域が強化すべきポイントやマインドセットとは何か。最新の世界・国内の取組概況、都内の先進事例から、アクセシブルツーリズム推進の必要性を取りまとめた。

② 「デジタルノマド&Tokyo～東京における最新のデータ分析と方策検討～」

共同研究者：トラベルボイス株式会社

- ・ ライフスタイルが多様化する中、IT を活用し世界を旅しながら働く「デジタルノマド」。東京がデジタルノマドにとってよりフレンドリーな都市となるために必要な方策や環境整備とは何か。デジタルノマドのリアルなニーズを深掘りし、デジタルノマド誘客推進の可能性について取りまとめた。

(イ) 上記調査結果の発信の場として、オンライン・カンファレンスを開催

開催日：令和 7 年 3 月 17 日 視聴登録者数：365 名

(ロ) 観光分野の有識者との意見交換

財団が推進する「持続可能な観光」に対する助言や、観光産業における今後の予測、世界的な傾向、新たなトレンドに関する意見交換を目的に、観光分野識者とのアドバイザリー会議を 2 回実施した。

第 1 回：令和 6 年 6 月 27 日 第 2 回：令和 7 年 1 月 24 日

(3) 「持続可能な観光」への貢献

(ア) 「持続可能な観光」加速化事業 <東京都負担金事業>

観光が引き起こす環境・社会への悪影響を最小限に抑え、東京の観光産業をさらに発展させていくため、区市町村や観光事業者に対して、「持続可能な観光」に関する国際的な業界動向や必要な知識、考え方の普及啓発を行い、業界の機運向上に努めた。

① GSTC (Global Sustainable Tourism Council) への加盟

「持続可能な観光」に関する国際機関である GSTC が持つ専門的な知見や最新情報へのリーチ、ネットワークの活用を目的に、令和 6 年 4 月 1 日に加盟した。

② 「持続可能な観光」基礎講座の実施

「持続可能な観光」に関し、基本的な事項を学ぶための講座を 4 回実施した。

第 1 回：令和 6 年 8 月 30 日 参加者：71 名

テーマ：サステナブル・ツーリズムの最前線と国際認証の仕組み

第 2 回：令和 6 年 10 月 8 日 参加者：70 名

テーマ：都市圏での地域を巻き込む宿泊施設と観光まちづくり

第 3 回：令和 6 年 11 月 26 日 参加者：64 名

テーマ：食と観光の未来～サステナブルな選択肢を探る～

第 4 回：令和 7 年 2 月 5 日 参加者：72 名

テーマ：宿泊業界の未来～サステナビリティが切り開く新たな可能性～

③ 海外最新情報の収集

以下の「持続可能な観光」に関する国際的なカンファレンスへ参加し、都内の観光関連事業者等へ向け、情報発信をした。

令和 6 年 4 月 23 日～26 日：「GSTC2024 Global Conference
in Stockholm, Sweden」

令和 6 年 10 月 15 日～19 日：「CityDNA Autumn Conference 2024 in Bruges」

令和 6 年 11 月 5 日～7 日：「World Travel Market London 2024」

令和 6 年 11 月 13 日～16 日：「GSTC2024 Global Conference
in Sentosa, Singapore」

④ 国際機関公認講習等の実施

国際基準の制定・認定団体である Global Sustainable Tourism Council の公認研修を観光事業者向けに開催した。

日程：令和 6 年 12 月 3 日～5 日（1・2 日目：座学、3 日目：フィールドワーク）

フィールドワーク：台東区＜都市部でサステナブル・ツーリズムを体現した
「職人撮影ツアー」に参画する事業者を中心に訪問＞

参加者：24 名

(イ) 「持続可能な観光」推進事業

① TCVB Sustainable Tourism Partnership

財団と賛助会員が連携し、環境負荷の軽減、地域経済への貢献・地域社会との連携、文化・自然遺産の保護と活用等の活動を通じて、東京を持続可能な観光・ビジネスイベント開催都市とすることを目的に、令和 5 年度創設した「TCVB Sustainable Tourism Partnership」について、新たな参画事業者が加わり、全 30 社・団体に拡大した。

パートナーシップの参画事業者を対象とした勉強会を 2 回開催した。

第 1 回：令和 6 年 7 月 2 日 参加者：36 名

第 2 回：令和 7 年 2 月 21 日 参加者：26 名

国際基準の制定・認定団体である Global Sustainable Tourism Council の公認研修をパートナーシップ参画事業者向けに開催した。

日程：令和 6 年 10 月 28 日～30 日（1・2 日目：座学、3 日目：フィールドワーク）

フィールドワーク：渋谷区＜シブヤフロント、アロープロジェクト等＞

参加者：22 名

② 人流モニタリングツールの活用

都内 6 つの区・観光協会と、観光客分析に特化した人流モニタリングツール「おでかけウォッチャー」を共同運営。また、東京都立大学と協力し、「人流データを活用した都内訪問者の行動傾向」レポートを公表（2 回）。

7 その他事業

(1) 大阪観光局との連携

令和3年12月に締結した「包括連携に関する協定書」に基づき、情報交換等を実施した。

(2) 後援

地域の観光協会等が主催する観光イベントや行事等27件に対し、東京観光財団の後援名義を付して協力した。

- ラ・フォルネ・ジェルネ TOKYO 2024
- SCAJ2024
(ワールドスペシャリティコーヒーカンファレンスアンドエキシビション 2024)
- アマチュア無線フェスティバル ハムフェア 2024
- 第98回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋 2024
- 第21回新宿エイサーまつり
- 第40回文京あじさいまつり
- タマリズムコンテスト
- 第62回文京区観光写真コンクール
- 第23回ドリーム夜さ来い祭り
- 東京ラーメンフェスタ 2024
- 高田馬場・早稲田ラーメンラリー2024
- 第36回新宿御苑森の薪能
- ツーリズム EXPO ジャパン 2024
- ビジネスチャンス EXPOinTOKYO
- 創基 151 年筑波大学開学 50 周年記念冠事業
令和6年度日韓青少年対話型交流事業「日韓みらいファクトリーフォーラム 2024」
- 東京マラソン 2025
- 町田時代祭り 2024
- インバウンドサミット 2024
- 東京タワー文化フェスティバルⅧ
- 東京国際プロジェクションマッピングアワード VOL. 9
- 第99回東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2025
- 第46回文京菊まつり
- Sustainable Event Professional Forum 2025
- アートフェア東京 19
- 東京サマーランド「チャリティー音楽会」「秋川クリーンアップ」
- 第68回文京梅まつり
- 第53回文京さくらまつり

(3) 委員会への参加

財団役員等が観光関連団体等への委員等に就任し、活動に参画した。

- 観光立国推進協議会
- 公益社団法人日本観光振興協会
- 一般社団法人日本経営協会
- 東京外かく環状道路（関越道～湾岸道路）整備促進連絡会議
- ヘブンアーティスト運営実行委員会
- 公益財団法人東京都公園協会評議員会
- 一般社団法人墨田区観光協会理事会
- 一般財団法人東京マラソン財団理事会
- 一般社団法人日本コンGRES・コンベンション・ビューロー理事会
- 多摩観光推進協議会幹事会
- 公益財団法人東京都中小企業振興公社理事会
- ツーリズム EXPO ジャパン実行委員会

II 収益事業

1 旅券交付に伴う東京都手数料徴収及び収入印紙販売事業

都内4箇所（新宿、有楽町、池袋、立川）と島しょ地域（9町村）において、東京都手数料徴収業務を実施。また、新宿旅券課内において収入印紙類を販売した。

東京都手数料徴収及び収入印紙販売件数 674,933件

2 テキスト販売事業

東京シティガイド検定の公式テキスト「江戸東京まち歩きブック」（新版）を販売した。

3 物販等販売事業

訪都旅行者の利便性向上のため、東京観光情報センター都庁内にてTokyo Tokyoグッズを中心とした物品やTokyo Subway Ticketの販売をするとともに、東京観光財団オンライン予約・購入サイトでの交通チケット販売を実施した。

4 Old meets New 東京街歩きツアー事業（新規事業）

サステナブルな旅のスタイル、「街歩き」を通じて東京の新旧の魅力を訪都外国人旅行者に知ってもらい、楽しんでもらうツアーを3エリア（上野・銀座・渋谷）5コース造成し、販売を開始した。

III その他事業（相互扶助等事業）

1 賛助会員に関する事業

(1) TCVB ミーティングの開催

最新の観光関連トピックも柔軟に取り入れ、賛助会員の様々な関心分野のトピックを扱うTCVBミーティングを、計10回開催した。

- ・ 第1回：建造物ライトアップの始め方と成功のコツ
オンライン開催 開催日：令和6年5月17日 視聴者数：114名
- ・ 第2回：青梅・奥多摩発！多様な主体で磨き上げる 地域資源の発掘・活用方法
リアル開催 開催日：令和6年5月23日 参加者数：26名
- ・ 第3回：メタバースで創るグローバルなMICE～MICE@TOKYOのご紹介～
オンライン開催 開催日：令和6年6月12日 視聴者数：48名
- ・ 第4回：スポーツツーリズムの現状と未来
リアル開催 開催日：令和6年11月8日 参加者数：33名
- ・ 第5回：イマーシブ×観光の可能性
リアル開催 開催日：令和6年11月22日 参加者数：44名
- ・ 第6回：多摩エリアにおけるMICEの可能性について
オンライン開催 開催日：令和7年1月10日 視聴者数：55名
- ・ 第7回：～東京で考える～デジタルノマド誘客の可能性
オンライン開催 開催日：令和7年2月6日 視聴者数：54名
- ・ 第8回：ペットツーリズムの現在とこれから～ペットは家族！～
リアル開催 開催日：令和7年2月18日 参加者数：42名
- ・ 第9回：海外プロモーション 共同出展等の効果的な活用について
～現地訪問から近未来を捉える～
リアル開催 開催日：令和7年3月11日 参加者数：34名
- ・ 第10回：成長が見込まれる市場についての考察～中東、インドの現況とこれから～
リアル開催 開催日：令和7年3月28日 参加者数：38名

(2) 賛助会員交流会の開催

財団の賛助会員である観光関連事業者等の交流を目的とした賛助会員交流会を開催した。

- ・ 開催日：令和6年11月27日
- ・ 参加者数：208名
- ・ 講演会テーマ：伝統文化・伝統芸能×観光・インバウンドの可能性
- ・ 講演者：三遊亭好青年氏（落語家）
岩下尚史氏（國學院大學客員教授、作家）
河野まゆ子氏（株式会社JTB 総合研究所 執行役員 地域交流共創部長）

(3) ビジネス交流会・会員施設視察交流会の開催

賛助会員同士のネットワーキングやビジネス拡大の場としての交流会等のイベントを、計5回開催した。

(ア) ビジネス交流会

- ・ 第1回：インバウンド活況！東京と大阪で考える、都市力アップとインバウンドの未来～三方よしのデスティネーションを目指して～
リアル開催 開催日：令和6年9月11日 参加者数：120名
※一般社団法人スマートシティ社会実装コンソーシアム及び公益財団法人大阪観光局との共催
- ・ 第2回：LGBTQ+Tourism
リアル開催 開催日：令和7年3月6日 参加者数：17名

(イ) 会員施設視察交流会

- ・ 第1回：ザ・クルーズクラブ東京
開催日：令和6年7月24日 参加者数：51名
- ・ 第2回：ワーナー ブラザース スタジオ東京
開催日：令和6年12月18日 参加者数：29名
- ・ 第3回：ホテルインディゴ東京渋谷
開催日：令和7年2月19日 参加者数：22名

(4) サステナビリティ活動の実施

東京の観光振興を推進する団体として、東京の観光に資するサステナビリティ活動を、計2回実施した。

- ・ 第1回：築地場外市場を正しく理解して楽しむ、レスポンシブルツーリズム
開催日：令和6年10月17日 参加者数：12名
- ・ 第2回：渋谷センター街ゴミ拾い
開催日：令和7年1月31日 参加者数：7名

(5) TCVB 賛助会員向けニュース速報の配信

財団の活動や、東京都等の観光に関わる行政情報、都内の地域・施設・イベント等の旬なニュースやトピックスを収集し、賛助会員等にメール配信した。

- ・ 配信回数：50回

(6) TCVB レポートでの情報発信

財団の活動を定期的に取りまとめ、賛助会員等に情報発信を行った。

- ・ 発信回数：28回